

管内概況書

令和4年度

諏訪地域振興局

目 次

| | |
|---------------------------|----|
| 管 内 の 概 況 | 1 |
| 総 務 管 理 課 | 4 |
| 企 画 振 興 課 | 10 |
| 環 境 課 | 14 |
| 農 地 整 備 課 | 24 |
| 林 務 課 | 28 |
| 商 工 観 光 課 | 35 |
| 農 業 農 村 支 援 セ ン タ ー | 46 |

管内の概況

令和4年度

1 概況

(1) 地勢

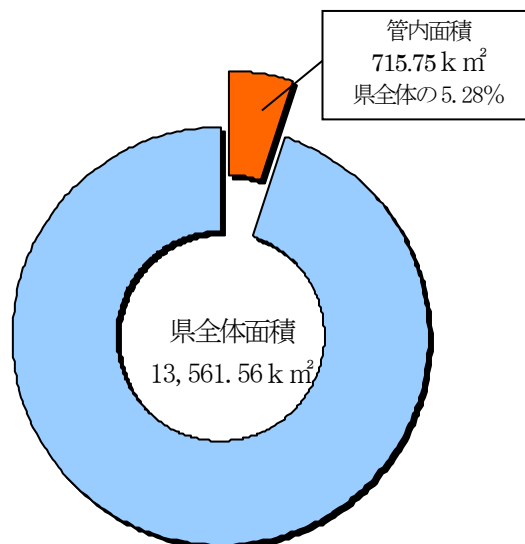
諏訪地域は、諏訪湖周辺の地域と八ヶ岳山麓の広大な高原地域からなり、行政区域が3市2町1村の計6市町村で構成される自然環境に恵まれた地域である。

総面積は諏訪湖を含め715.75k㎡(諏訪湖の面積:13.30k㎡)で、このうち森林面積が508.21k㎡、耕地面積が60.27k㎡で、それぞれ全体の71.0%、8.4%を占めている。

<市町村別面積>

| 市町村名 | 面積(k㎡) |
|------|-----------|
| 岡谷市 | 85.10 |
| 諏訪市 | 109.17 |
| 茅野市 | 266.59 |
| 下諏訪町 | 66.87 |
| 富士見町 | 144.76 |
| 原村 | 43.26 |
| 管内計 | 715.75 |
| 県全体 | 13,561.56 |

(諏訪湖面積 13.30k㎡を含む)



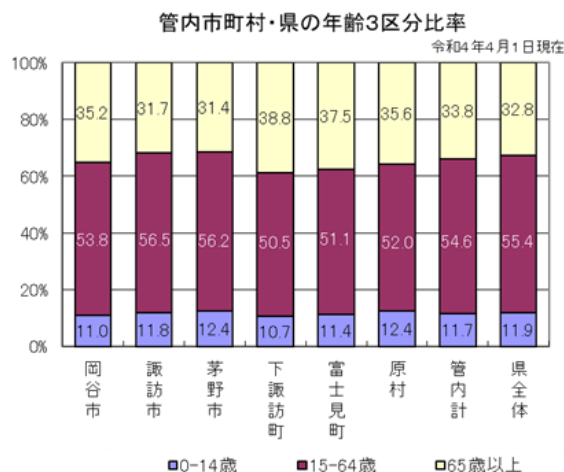
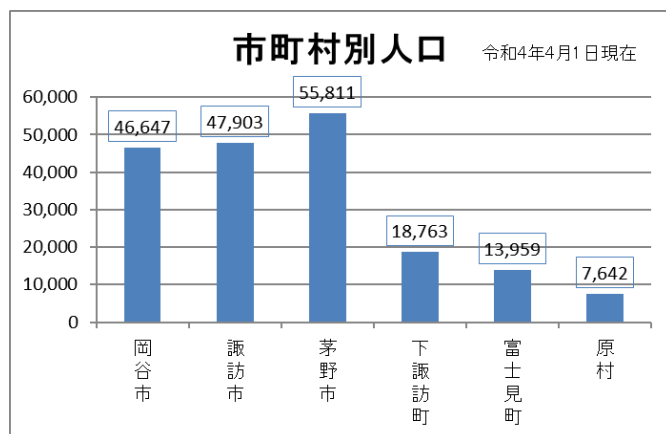
(資料：国土交通省国土地理院の全国都道府県市区町村別面積調・令和4年1月1日現在)

(2) 人口等

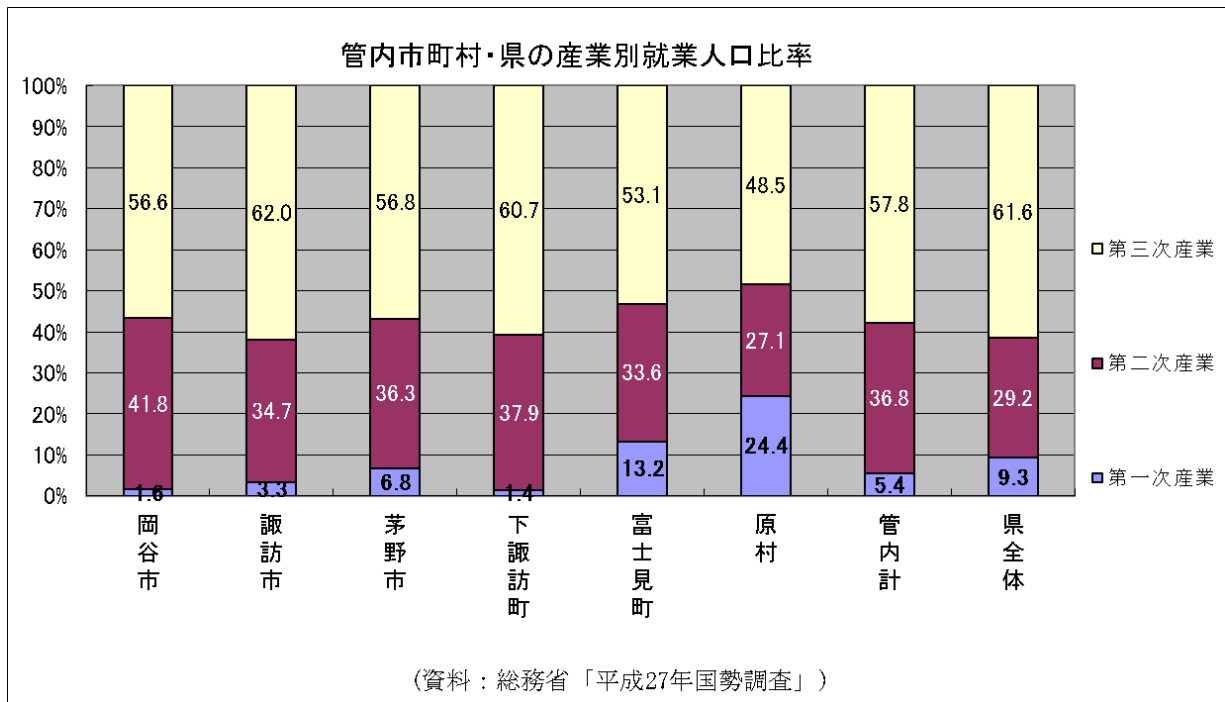
人口は、令和4年4月1日現在190,725人で、県総人口2,022,009人の9.4%に当たる。

高齢化率は、令和4年4月1日現在33.8%で、県全体の高齢化率32.8%と概ね同率である。

産業別就業人口比率では、第二次産業従事者の比率が36.8%と県全体に比べ7.6ポイント高い。



(資料：情報政策課統計室「毎月人口異動調査」)



(3) 気象

気象は年間を通じて晴天が多く、夏季は、気温が高いが湿度は低い内陸性のさわやかな気候であり、冬季は、寒さは厳しいものの降雪量は少ない。

(4) 交通

中央自動車道西宮線・同長野線を始め、国道20号、JR中央東線など主要な交通路線が横断しており、特に中央自動車道は、当地域と県北部や首都圏、中京圏を結ぶ大動脈となっている。

(5) 産業

諏訪地域は、工業と観光が産業の柱となっているが、茅野市、富士見町、原村の八ヶ岳の西麓地域では、農業が盛んである。

ア 商業・工業・観光

商業では、大型小売店舗の出店に加え、インターネット通販の進展により、中心市街地の空洞化や価格競争が増し、既存の中小小売店の経営は厳しい状況が続いている。

工業は、古くから培ってきた精密加工分野の産業集積が進んでおり、自動車部品を中心に事業を展開している事業者が多いが、近年では、強みである精密加工技術や電子・情報技術を活かして医療・ヘルスケア機器分野への進出や、国際戦略総合特区「アジア No 1 航空宇宙産業クラスター形成特区」の追加指定を受け航空機・衛星関連産業への参入を目指す取組など、今後の成長期待分野への事業展開が積極的に図られている。この他、日本酒、味噌といった伝統的な醸造、発酵食品の産地でもある。

こうした諏訪地域の強みを国内外へ発信し、新たなビジネスチャンスを獲得するべく平成14年(2002年)から毎年開催している「諏訪圏工業メッセ」は、地方では国内最大級の工業専門展示会との評価を受けるまでに発展している。

観光は、高速交通網による都市圏との恵まれたアクセスや温泉、高原、美術館、湖などの豊

かな観光資源等により、多くの観光客が訪れている。傾向としては、県外客、日帰り客の割合が高くなっている。

イ 農林水産業

農業は、八ヶ岳の西麓地域を中心に冷涼な気象条件を生かした高原野菜や花きの生産が盛んで、県内有数の園芸産地として発展している。野菜では、セルリーが全国屈指の生産量を上げており、花きではキク、カーネーションを中心に多品目が栽培され、県内花き全体の3割弱の生産額を占める産地である。

林業は、戦後植林された森林が成熟しつつあり、林業・木材産業の振興、里山の防災・減災、観光地の景観整備等を目的として、計画的な間伐と搬出による材の利活用を推進している。

また、特用林産物では、まつたけの生産が盛んである。

水産業では、諏訪湖を中心としたワカサギ、コイの漁獲がある他、全国の湖沼にワカサギの活卵を供給している。また、冬期間の気象条件を活かして寒天の生産が行われており、全国一の角寒天の産地である。

| 区分 | 農産物 | | 水産物 | | 林産物 | | 工業製造品 | |
|-------|-------------|-------------------------|-------------|-------------------------|-------------|-------------------------|-------------|-------------------------|
| | 生産額 (万円) | 全県に 占める 割合 (%) | 生産額 (万円) | 全県に 占める 割合 (%) | 生産額 (万円) | 全県に 占める 割合 (%) | 出荷額 (万円) | 全県に 占める 割合 (%) |
| 平成23年 | 1,520,000 | 5.6 | 118,000 | 21.9 | 39,281 | 5.0 | 56,194,049 | 10.6 |
| 平成24年 | 1,470,000 | 5.4 | 114,000 | 22.3 | 41,737 | 5.2 | 56,634,248 | 11.1 |
| 平成25年 | 1,415,000 | 5.0 | 110,000 | 22.2 | 55,728 | 6.6 | 56,566,760 | 11.1 |
| 平成26年 | 1,334,000 | 4.7 | 107,000 | 21.4 | 46,494 | 5.0 | 55,495,887 | 10.2 |
| 平成27年 | 1,434,000 | 4.9 | 98,700 | 19.8 | 62,269 | 6.6 | 55,664,359 | 9.5 |
| 平成28年 | 1,474,000 | 5.1 | 111,000 | 20.2 | 68,504 | 7.2 | 55,160,379 | 9.5 |
| 平成29年 | 1,441,000 | 5.1 | 108,000 | 18.6 | 51,801 | 5.4 | 61,042,610 | 9.9 |
| 平成30年 | 1,475,000 | 4.9 | 87,600 | 15.6 | 45,033 | 4.4 | 60,401,061 | 9.3 |
| 令和元年 | 1,461,000 | 5.1 | 83,900 | 14.5 | 53,944 | 4.5 | 56,357,121 | 9.2 |
| 令和2年 | 1,450,000 | 5.0 | 80,200 | 15.8 | 49,606 | - | - | - |

(出典：農産物・水産物・林産物生産額は地域振興局推計値、工業製造品出荷額は情報統計課「工業統計調査結果報告書」)

2 管内図



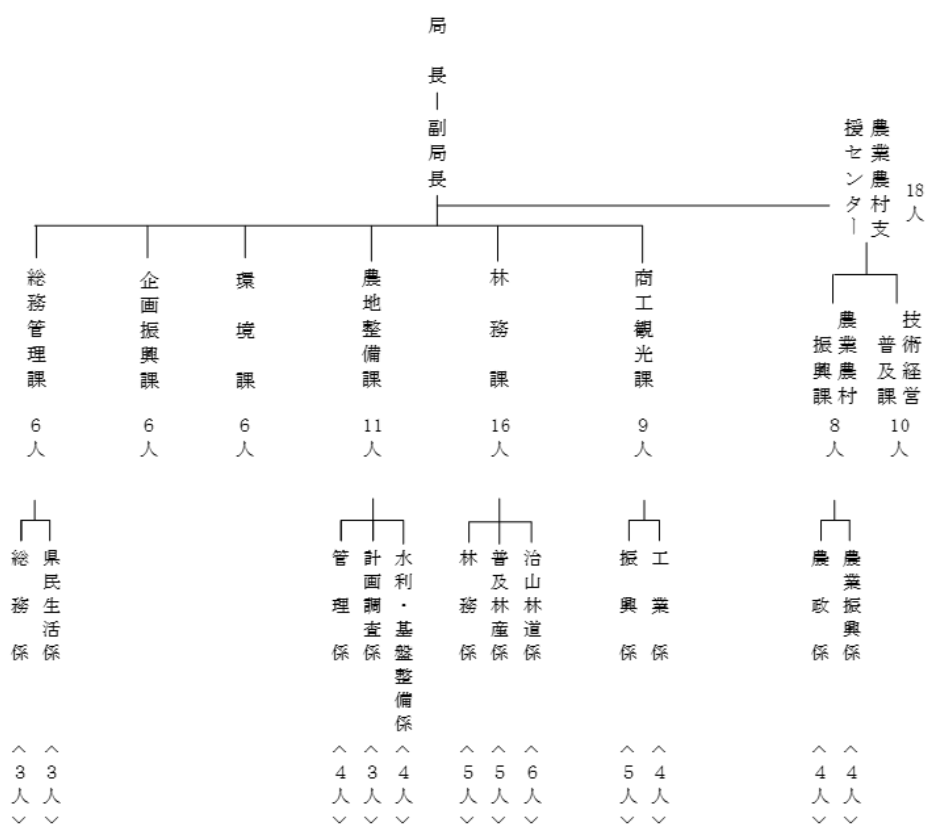
総務管理課

令和4年度

総務管理課

1 組織・機構の概要（諏訪地域振興局）

(令和4年4月1日現在)
実人員 74名



2 合同庁舎の概要

- | | | |
|----------|--|--|
| (1) 工事費 | 7億6千万円 | |
| (2) 竣工 | 昭和48年3月31日 | |
| (3) 土地 | 敷地 10,687.78㎡ | |
| (4) 構造 | 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 | |
| (5) 規模 | 地下1階 地上5階 塔屋2階 | |
| (6) 延床面積 | 9,371.49㎡ | 本館（公用車庫共） 8,761.32㎡ 大型車庫等 610.17㎡ |
| (7) 設備 | 電気設備 給排水衛生設備 エレベーター設備（2基） | 空気調和設備 自動電話交換設備 |
| (8) 耐震改修 | 工期 平成21年8月～平成23年1月 鉄骨ブレース 66箇所、RC壁補強（地下）5箇所、RC柱補強（地下）4箇所 耐震評価値 1.5 | |
| (9) 入庁機関 | 長野県諏訪地域振興局 長野県南信県税事務所諏訪事務所 長野県諏訪保健福祉事務所 長野県諏訪建設事務所 長野県南信会計センター諏訪分室 | （1・3・5階） （3階） （2階） （4階） （5階） |

3 県有財産の状況

(令和4年4月1日現在)

| 区 分 | | 単位 | 数量 | 備 考 | | |
|--------|------|-------------|-----------------|-----------|--------------------|--------------|
| 土 地 | 行政財産 | 諏訪合同庁舎 | m ² | 10,687.78 | | |
| | 普通財産 | 湖明館通り宿舎 | m ² | 185.91 | | |
| | | 赤沼職員宿舎 | m ² | 2,389.00 | | |
| | | 高木寮 | m ² | 2,086.00 | | |
| | | 下金子寮 | m ² | 2,457.28 | | |
| 建 物 | 行政財産 | 諏訪合同庁舎 | 延m ² | 9,371.49 | 昭和48年3月 | |
| | | 霧ヶ峰自然保護センター | 延m ² | 575.00 | 昭和48年8月 RC・1 | |
| | | 大気汚染常時監視局 | 延m ² | 15.24 | 昭和49年12月 W・1 | |
| | | 水質監視測定局舎 | 延m ² | 33.12 | 平成元年3月 Wモル・1 | |
| | | 下諏訪県有林造林小屋 | 延m ² | 32.40 | 昭和55年3月 W・1 | |
| | 普通財産 | 湖明館通り宿舎 | 延m ² | 85.29 | 昭和60年8月 W・1 1棟1戸 | 令和11年度末に廃止予定 |
| | | 赤沼職員宿舎 | 延m ² | 1,812.27 | 平成7年3月 RC・2 2棟20戸 | |
| | | 高木寮 | 延m ² | 1,173.04 | 昭和59年3月 RC・4 1棟43戸 | |
| | | 下金子寮 | 延m ² | 1,256.69 | 昭和61年3月 RC・4 1棟41戸 | |
| | | 工 作 物 | 行政財産 | 囲障 | m | 385.90 |
| 貯槽 | 個 | | | 2 | | |
| 雑屋建 | 個 | | | 2 | 東渡廊下、西渡廊下 | |
| 塔及び柱 | 基 | | | 2 | | |

4 交通安全対策

(1) 交通安全運動の推進

交通事故のない「安全で快適な交通社会」の実現のため、市町村、関係機関及び団体と連携し、交通安全運動を推進している。

【令和3年度における季別の交通安全運動】

| 名称 | 期間 | 主な実施内容 |
|--------------|---------------------|--|
| 春の全国交通安全運動 | R3. 4. 6～15(10日間) | <ul style="list-style-type: none"> ・合庁内での職員及び来庁者向け放送 ・旅券窓口での啓発活動 ・小学校での交通安全教室 ・ドライバー、歩行者への注意喚起及び反射材の配布 ・シートベルト着用調査の実施 |
| 夏の交通安全やまびこ運動 | R3. 7. 22～31(10日間) | |
| 秋の全国交通安全運動 | R3. 9. 21～30(10日間) | |
| 年末の交通安全運動 | R3. 12. 15～31(17日間) | |

| | | H29年 | H30年 | R元年 | R2年 | R3年 |
|-------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事故件数 (件) | 管内 | 767 | 756 | 642 | 475 | 497 |
| | 全県 | 7,952 | 7,251 | 6,281 | 4,802 | 4,772 |
| 死者 (人) | 管内 | 7 | 7 | 3 | 5 | 2 |
| | 全県 | 79 | 66 | 65 | 46 | 45 |
| 負傷者 (人) | 管内 | 913 | 946 | 778 | 598 | 622 |
| | 全県 | 9,726 | 8,818 | 7,559 | 5,756 | 5,696 |

(2) 交通事故発生状況の推移

5 NPO法人への支援

新たな公共サービスの担い手として期待されているNPOの自立を支援するため、相談窓口を設置し、NPO法人設立認証申請書の受理等を行うとともに、県による各種NPO支援事業の紹介等を実施している。

【特定非営利法人(NPO法人)数の推移】

各年度3月31日現在

| 区分 | | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
|-----------------|----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 法人数 (県知事認証分) | 管内 | 83 (8.2%) | 85 (8.4%) | 86 (8.5%) | 84 (8.5%) | 83 (8.5%) |
| | 全県 | 1,010 | 1,014 | 1,013 | 994 | 981 |

()内は、全県に占める諏訪管内の割合

6 消費者対策

(1) 家庭用品品質表示法に基づく立入検査

消費者が日常使用する家庭用品について、品質に関し表示すべき事項やその表示方法等を定め、それらの品目の品質表示が適正でわかりやすく行われているか立入検査を実施した。

| 対 象 品 目 | 検査店舗数 | 行政指導 |
|---|----------|------|
| 繊維製品（セーター）、合成樹脂加工品（ポリエチレンフィルム製又はポリプロピレンフィルム製の袋）、電気機械器具（電気冷蔵庫）、雑貨工業品（ティッシュペーパー及びトイレットペーパー、サングラス、カバン） | 延べ 14 店舗 | なし |

(2) 消費生活用製品安全法に基づく立入検査

消費者の生命・身体に対して危害を及ぼすおそれが多い製品に、国の定めた技術上の基準に適合していること示す必要な表示が行われているか立入検査を実施した。

| 対 象 品 目 | 検査店舗数 | 行政指導 |
|---|----------|------|
| 圧力なべ、ヘルメット、携帯用レーザー応用措置、浴室用温水循環器、石油ストーブ、ライター | 延べ 11 店舗 | なし |

7 消防防災対策

(1) 消防力の状況

（令和 4 年 4 月 1 日現在）

| 区 分 | 消防職員数 （人） | 消防団員数 （人） | 消 防 自 動 車 等 （台） | | | | | 消 防 水 利 （箇所） | | |
|----------|--------------|--------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|--------------|-------------------------|---|
| | | | ポ ン 学 プ 消 車 防 | ポ は ン し プ ご 付 | ポ 水 ン 槽 プ 付 | ポ 普 ン 通 プ 消 車 防 | ポ 小 ン 型 動 プ 力 | 消 火 栓 | 防 火 水 槽 | |
| | | | | | | | | | 40 m ³ 以上 | 20 m ³ ～ 40 m ³ |
| 市 町 村 | — | 2,817 | — | — | — | 45 | 146 | 4,492 | 650 | 518 |
| 諏訪広域消防本部 | 238 | — | 1 | 1 | 8 | 4 | — | — | — | — |
| 合 計 | 238 | 2,817 | 1 | 1 | 8 | 49 | 146 | 4,492 | 650 | 518 |

(2) 地震防災対策

ア 地域指定の状況（管内 6 市町村）

南海トラフ地震防災対策推進地域（平成 26 年 3 月 28 日指定）

イ 地震災害応急対策活動体制強化

① 訓練の実施

大規模地震発生時における長野県災害対策本部諏訪地方部の応急対策活動を実効性あるものとするため、南海トラフ地震等による被害を想定した情報収集伝達訓練・非常参集訓練・図上訓練等を実施している。

② 諏訪地域南海トラフ地震等災害対策推進協議会の開催

諏訪地域において、県、市町村、防災関係機関が密接な連携を図りながら、より具体的、効果的な南海トラフ地震対策等を推進するため、本協議会を開催している。

③ 相互協定の締結

災害発生時の迅速で正確な災害情報提供のため、エルシーブイ株式会社と災害情報放送に関する相互協定を締結している。

8 人権尊重・男女共同参画施策

(1) 人権尊重施策

長野県人権政策推進基本方針（H22.2策定）を踏まえ、関係機関・企業等と連携しながら啓発、研修事業を実施した。

【令和3年度における人権尊重事業】

| 実施日 | 内容 |
|------------|---|
| 令和3年12月10日 | 諏訪地区企業人権研修会 講演「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」 講師 日本赤十字社長野県支部 地域赤十字奉仕団研修推進委員 福島 朝雄 氏、有賀 美紀子 氏 |

(2) 男女共同参画施策

第5次長野県男女共同参画計画（計画年度R3～R7の5年間）に基づき、働き方・暮らし方を変えて、誰もが自分らしく生きられる社会づくり等を推進するため、広報、啓発及び男女共同参画推進員の設置等を行い、推進に努めている。

| 項目 | 内容 |
|------------------------|--|
| 男女共同参画週間中のかかるた展示及び庁内放送 | ・啓発展示：諏訪合同庁舎1階ロビー ・案内放送：諏訪合同庁舎 |
| 諏訪地方男女共同参画連絡会 | ・市町村、賛同者の活動報告、意見交換等（通常年3回開催だがコロナの為すべて書面開催） |

9 旅券発給状況

| | H29年 | H30年 | R元年 | R2年 | R3年 |
|-------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|-----------------|
| 諏訪地域振興局 (A) | 5,039 (111.0) | 4,980 (98.8) | 4,979 (100.0) | 1,335 (26.8) | 551 (41.3) |
| 全 県 (B) | 49,045 (107.9) | 51,482 (105.0) | 52,966 (102.9) | 14,254 (26.9) | 5,246 (36.8) |
| 全県に対する管内 構成比 (A / B) | 10.3% | 9.7% | 9.4% | 9.4% | 10.5% |

旅券窓口のサービス向上を図りつつ、旅券の適正な発行に努めている。

(1) 申請状況(暦年) ()内の数値は対前年比(%)

(2) 旅券窓口のサービス向上対策

火曜日及び木曜日（木曽、南信州、北アルプス、北信各地域振興局は木曜日のみ）の窓口開設時間の延長（19時まで）や日曜交付（松本、長野両地域振興局）を行うなど、旅券取得者に対するサービス向上に努めている。

10 子ども・青少年の健全育成支援

青少年を取り巻く環境が大きく変化し、青少年による犯罪や子どもの安全を脅かす事件などが多発する中、市町村や関係団体と連携しながら、街頭啓発など広報活動や有害環境チェック活動等を実施し、青少年の健全育成に努めている。

【令和3年度における青少年健全育成推進事業】

| 名 称 | 期 間 | 実 施 内 容 |
|-----------------------|---------|---|
| 信州あいさつ運動 | 7・11月 | <ul style="list-style-type: none"> 協力店へのステッカー掲示依頼 街頭啓発（学校、駅前、商業施設等） ポスター、看板、懸垂幕掲示 長野県将来世代応援県民会議諏訪地域会議の開催（書面開催） 官民協働による子どもの居場所づくりの推進 有害自動販売機撤去要請及び実態調査活動 |
| 青少年の非行・被害防止全国強調月間 | 7月 | |
| 青少年に有害な社会環境排除県民運動強化月間 | 7・11月 | |
| 子ども・若者育成支援強調月間 | 11月 | |
| 有害環境浄化活動強化月間 | 7・11・2月 | |

【有害図書等自動販売機の設置台数(各年度11月末現在)】 (単位：台)

| | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 |
|------|-------|-------|------|------|------|
| 諏訪管内 | 30 | 29 | 30 | 32 | 29 |
| 県 計 | 98 | 82 | 75 | 79 | 63 |

11 信州こどもカフェの推進

「信州こどもカフェ※1」事業を推進するため、平成29年3月に官民協働で「諏訪圏域子ども応援プラットフォーム」を設置し、「信州こどもカフェ」の担い手育成のための研修や関係者の意見交換の場の提供など、事業の普及・拡大に向けた取組を実施している。

また、「第三の居場所※2」として指定をされている「みんなの居場所 ゆめひろ」を支援するための現地支援チームを設け、市町村・学校・地域住民などが多方面から主体的に参画できるよう協力を促した。

※1 信州こどもカフェ

学習支援、食事提供、悩み相談等の複数の機能・役割を有し、家庭機能を補完する「一場所多役」の子どもの居場所の総称。

管内では、令和3年度末現在、22団体の22ヶ所で運営されている。

※2 第三の居場所

公益財団法人日本財団、公益財団法人長野県みらい基金、長野県の三者で「子どもの第三の居場所への支援協力に関する協定」を令和元年9月9日に締結し、地域の力で支える常設型の信州こどもカフェとして県下4ヶ所においてモデル的に実施。

令和3年度いっぱい満3年を迎え、助成が終了した

企 画 振 興 課

令 和 4 年 度

企画振興課

1 市町村行財政の状況

令和2年度決算において、管内市町村の財政力指数は、平均で0.59と県平均0.40を大幅に上回っているが、経常収支比率は、平均88.9と県平均87.4に比べ高い水準が続いている。

また、実質公債費比率は、2市1村（岡谷市、茅野市、原村）において県平均の6.1を上回っている。

少子高齢化の進展や、厳しい経済状況等多くの課題がある中で、効率的で計画的な行財政運営を行うよう助言に努めている。

市町村財政概要(令和2年度)

(単位：百万円)

| 団体名 | 歳入総額 | | | 歳出総額 | | 実質 収 支 | 標 準 財 政 規 模 | 積立金現在高 (2年度末) | | 地方債 現在高 (2年度末) | 経常収 支比率 % | 実質公 債費比 率 % | 財政力 指 数 3か年 平 均 |
|-------|-----------|---------|---------|-----------|---------|-----------|-------------------|------------------|---------|----------------------|-----------------|----------------------|--------------------------|
| | 26,868 | 一般財源 | | 25,954 | 人件費 | | | 3,786 | 1,474 | | | | |
| | | 14,566 | 市町村税 | | | | | | | | | | |
| 岡谷市 | 26,868 | 14,566 | 6,790 | 25,954 | 3,825 | 681 | 12,037 | 3,786 | 1,474 | 22,561 | 91.0 | 9.2 | 0.65 |
| 諏訪市 | 27,666 | 15,411 | 7,696 | 26,722 | 4,028 | 807 | 12,287 | 3,933 | 1,607 | 20,485 | 90.3 | 5.2 | 0.74 |
| 茅野市 | 32,551 | 19,824 | 8,555 | 31,587 | 4,398 | 879 | 16,998 | 3,777 | 1,821 | 26,284 | 90.4 | 6.8 | 0.59 |
| 市計 | 87,085 | 49,801 | 23,041 | 84,263 | 12,251 | 2,367 | 41,322 | 11,496 | 4,902 | 69,330 | 90.6 | 7.1 | 0.66 |
| 下諏訪町 | 10,739 | 6,232 | 2,505 | 10,422 | 1,522 | 311 | 5,007 | 1,677 | 1,049 | 9,966 | 82.5 | 5.8 | 0.59 |
| 富士見町 | 10,312 | 6,512 | 2,446 | 9,598 | 1,397 | 580 | 5,220 | 3,463 | 1,484 | 5,558 | 84.5 | 4.0 | 0.55 |
| 原村 | 5,643 | 3,623 | 948 | 5,237 | 920 | 392 | 2,881 | 2,145 | 987 | 1,787 | 85.2 | 6.4 | 0.40 |
| 郡計 | 26,694 | 16,367 | 5,899 | 25,257 | 3,839 | 1,283 | 13,108 | 7,285 | 3,520 | 17,311 | 83.9 | 5.4 | 0.51 |
| 管内計 | 113,779 | 66,168 | 28,940 | 109,520 | 16,090 | 3,650 | 54,430 | 18,781 | 8,422 | 86,641 | 88.9 | 6.2 | 0.59 |
| 県内市計 | 1,012,641 | 531,154 | 237,159 | 984,237 | 125,147 | 21,149 | 439,280 | 230,673 | 74,908 | 707,028 | 89.6 | 5.8 | 0.58 |
| 県内町村計 | 366,316 | 228,281 | 60,582 | 346,609 | 50,550 | 15,371 | 177,881 | 180,577 | 77,186 | 240,080 | 81.8 | 6.8 | 0.35 |
| 県計 | 1,378,957 | 759,435 | 297,740 | 1,330,846 | 175,697 | 36,520 | 617,161 | 411,250 | 152,094 | 947,107 | 87.4 | 6.1 | 0.40 |

実質収支 …単年度の収入と支出の差額から、翌年度に繰り越すことが決まっている財源を差し引いたもの。
 標準財政規模 …標準税収入額などに普通交付税を加算した額。
 経常収支比率 …地方税や普通交付税など毎年の収入に対し、人件費や扶助費など決まった支出が占める割合。
 実質公債費比率 …自治体の収入に対する負債返済の割合を示す。18%以上だと新たな借金をするために国や県の許可が必要。25%以上だと借金を制限される。
 財政力指数 …財政の豊かさを表す指数。自治体を運営するのに必要な経費に対して、自前の収入がどれくらいあるかを示す数値。1に近いほど財政に余裕がある。

2 地域振興

(1) 地域発 元気づくり支援金

豊かさが実感でき活力あふれる輝く長野県づくりを進めるため、市町村や公共的団体が住民とともに自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業に対する「地域発 元気づくり支援金」を交付している。

令和4年度「地域発 元気づくり支援金」選定状況

(1) 事業区分別の選定状況

| 事業区分 | | 件数 | 支援額（千円） |
|------|------------------------|----|---------|
| 1 | 地域協働の推進 | 4 | 6,539 |
| 2 | 保健、医療、福祉の充実 | 1 | 681 |
| 3 | 教育、文化の振興 | 10 | 7,650 |
| 4 | 安全・安心な地域づくり | 4 | 5,318 |
| 5 | 環境保全・景観形成 | 3 | 3,604 |
| 6 | 産業振興、雇用拡大（小計） | 11 | 19,802 |
| (1) | 特色ある観光地づくり | 8 | 12,232 |
| (2) | 農業の振興と農山村づくり | 0 | 0 |
| (3) | 森林づくりと林業の振興 | 0 | 0 |
| (4) | 商業の振興 | 0 | 0 |
| (5) | その他 | 3 | 7,570 |
| 7 | 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業 | 0 | 0 |
| 8 | その他地域の元気を生み出す地域づくり | 9 | 9,956 |
| 合 計 | | 42 | 53,550 |

うち、重点的に推進するテーマに関する事業分

| 重点テーマ区分 | 件数 | 支援額（千円） |
|---------------------------|----|---------|
| ① 2050ゼロカーボンに向けた取組の推進 | 3 | 4,397 |
| ② 地域防災力の向上 | 3 | 2,289 |
| ③ 産業競争力の強化、地域を支える人材の確保・育成 | 2 | 3,732 |
| ④ 諏訪湖を活かしたまちづくり | 1 | 1,065 |
| ⑤ 選ばれ続ける観光地域づくり | 8 | 13,444 |
| ⑥ 移住促進、歴史・文化を活かした地域づくり | 10 | 14,469 |
| ⑦ 若者のUIJターン就業の促進 | 1 | 2,953 |
| 合 計 | 28 | 42,349 |

(2) 申請者区分別の選定状況

| 申請者区分 | 件数 | 支援額（千円） |
|---------------------|----|---------|
| 市町村 | 7 | 11,075 |
| 公共的団体（地域づくり団体・NPO等） | 35 | 42,475 |
| 合 計 | 42 | 53,550 |

(2) 地域振興推進費

地域振興局長のリーダーシップのもと、他の現地機関と連携調整を図りながら、地域課題の解決や地域の活性化等に向けた取組を実施している。

○令和3年度 地域振興推進費活用事業一覧

| 諏訪湖を活かしたまちづくり(諏訪湖創生ビジョンの推進) | | | | |
|-------------------------------|---|-------------------------------------|------------------|--|
| 事業名 | 事業概要 | 実施機関 | 事業費 | |
| 水辺の昆虫モニタリングによる生態系保全手法の検討事業 | 流入河川におけるメガネサナエの成虫調査及び諏訪湖湖岸の羽化殻調査を継続し、これまでの生息実態を踏まえて、場所等の具体的な生態系保全のための技術的手法検討を行った。 | 諏訪地域振興局環境課 | 60,180 | |
| 諏訪湖カワアイサ対策生態調査 | 諏訪湖における水産業の振興と、野性鳥類の保護の共存を図るため、諏訪湖におけるカワアイサの生態を明らかにし、魚食被害に対する効率的かつ効果的な追払い方法について調査を実施した。 | 諏訪地域振興局林務課 | 869,000 | |
| ワカサギ資源に関する基礎調査 | 諏訪湖の魚を代表するワカサギについて、安定的な漁獲量を確保し、関連産業の安定化につなげるために、ワカサギ資源に関する基礎調査を行い、対策を検討した。 | 諏訪農業農村支援センター農業振興係 | 198,000 | |
| 八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域づくりの推進 | | | | |
| 八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした総合的な振興方策の検討・展開 | Withコロナ、Afterコロナ時代における八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域づくりを進めるため、地域のニーズや既に進められている取組の全体像を整理し、タウンミーティングの開催を通じて市町村、住民、企業・団体等とともに今後の方向性や取り組むべき方策を検討・共有した。 また、デジタル技術を活用して八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を発信することにより、滞在・周遊・体験型の観光地域づくりを推進した。 | 諏訪地域振興局企画振興課 | 56,135 | |
| 日本遺産(縄文)のブランド化 | 若い女性をターゲットにし、SNSで発信してもらうことにより、日本遺産の魅力を広く普及させるため、女性が写真を撮りたくなるような「映え」土偶、土器の装飾やキャッチコピー等の検討を行った。 | 諏訪地域振興局企画振興課 | 500,000 | |
| 魅力ある森林景観づくり推進事業 | 森林景観づくりに対する理解を深め、地域の魅力向上、観光誘客、観光客の満足度向上が図られることを目指し、森林景観のデザインとその演出の実践的な技法について学ぶセミナーを開催した。 | 諏訪地域振興局企画振興課 | 78,789 | |
| 重要な地域課題への対応 | | | | |
| コミュニティ放送等を活用した地域情報の発信事業 | コミュニティFM(LCV)等と連携し、地域住民に向けて諏訪管内の現地機関、県立学校、関係団体等が取り組む施策、プロジェクト等の情報等を、タイムリーに発信した。 | 諏訪地域振興局総務管理課 | 667,400 | |
| 信州まつもと空港レンタカー利用促進キャンペーン事業 | 信州まつもと空港のレンタカー利用者にパスポートを配付することにより、空港周辺地域の観光情報の提供や特典付与による動機付けを行い、地域内での周遊、滞在及び消費の促進を図った。 | 諏訪地域振興局企画振興課(松本、北アルプス、木曾地域振興局と協働実施) | 339,240 | |
| サイクルツーリズム推進事業 | サイクルツーリズムの推進を図るため、紅葉シーズンのサイクリングルート現地取材を行い、TABIRINサイト内に動画を含めた記事掲載を行った。 | 諏訪地域振興局商工観光課 | 1,077,230 | |
| 農産物関連イベント・直売所巡りスタンプラリー | 諏訪地域の農畜産物の情報・魅力を広くPRするため、夏季から秋季にかけて、管内の農畜産物関連イベント及び農産物直売所を巡るスタンプラリーを実施した。 | 諏訪農業農村支援センター農政係 | 689,700 | |
| 「おらほの子どもは、おらほで育てる」 | 社会的養護を必要とする子ども達の代替養育の担い手となる養育里親制度の推進のため、諏訪地域における養育里親への支援のあり方を検討するとともに、地域住民への里親制度の周知のため支援者向け研修である里親支援強化研修会の開催や養育里親募集に係るポスター、リーフレットを作成し、諏訪地域金融機関及び郵便局等に掲示等依頼した。 | 諏訪児童相談所 | 252,484 | |
| 広域周観光及びサイクルツーリズム推進事業 | 広域的な周遊観光の促進や、サイクルツーリズムを推進していくために、諏訪エリア広域観光ガイドおよびサイクリングルートマップの増刷を行い、既配布箇所への追加配布を実施した。 | 諏訪地域振興局商工観光課 | 702,460 | |
| 合計(12事業) | | | 5,490,618 | |

3 選 挙

令和3年10月に衆議院議員総選挙が執行された。

明るい選挙推進のため、市町村選挙管理委員会と連携をとり、明るい選挙啓発ポスター募集事業を行うなど、常時啓発事業を実施している。

(1) 市町村長・議員の任期、定数、男女の別

(令和4年5月1日現在)

| 市町村名 | 市 町 村 長 | | | 市町村議会議員 | | | | | |
|------|---------|----------|----|----------|------------|------------|----------|----|----|
| | 氏 名 | 任期満了日 | 回数 | 任期満了日 | 定 数 (人) | 欠 員 (人) | 男女の別 (人) | | |
| | | | | | | | 男 | 女 | 計 |
| 岡谷市 | 今井 竜五 | 5. 9. 28 | 4 | 5. 4. 30 | 18 | 0 | 15 | 3 | 18 |
| 諏訪市 | 金子 ゆかり | 5. 4. 30 | 2 | 5. 4. 30 | 15 | 0 | 10 | 5 | 15 |
| 茅野市 | 今井 敦 | 5. 4. 29 | 1 | 5. 4. 29 | 18 | 0 | 15 | 3 | 18 |
| 下諏訪町 | 宮坂 徹 | 6. 12. 4 | 1 | 5. 4. 30 | 13 | 0 | 9 | 4 | 13 |
| 富士見町 | 名取 重治 | 7. 8. 28 | 2 | 5. 4. 30 | 11 | 0 | 10 | 1 | 11 |
| 原 村 | 五味 武雄 | 5. 8. 7 | 2 | 5. 4. 30 | 11 | 0 | 9 | 2 | 11 |
| 計 | | | | | 86 | 0 | 68 | 18 | 86 |

(2) 有権者数、投票率、選挙人名簿登録者数

| 市町村名 | 県知事選挙 (平成30年8月5日) | | 県議会議員選挙 (平成31年4月7日) | | 参議院議員補欠選挙 (令和3年4月25日) 【選挙区】 | | 衆議院議員選挙 (令和3年10月31日) 【小選挙区】 | | 選挙人名簿登録者数及び 在外選挙人名簿登録者数 (令和4年3月定時登録) | | |
|------|----------------------|-------|------------------------|-------|-----------------------------------|-------|-----------------------------------|-------|--|---------|-----------|
| | 有権者(人) | 投票率% | 有権者(人) | 投票率% | 有権者(人) | 投票率% | 有権者(人) | 投票率% | 男(人) | 女(人) | 計(人) |
| 岡谷市 | 41,780 | 52.31 | 41,291 | 53.26 | 41,249 | 46.28 | 40,908 | 59.06 | 19,765 | 21,101 | 40,866 |
| 諏訪市 | 40,676 | 44.22 | 40,380 | 47.43 | 40,799 | 43.80 | 40,602 | 58.30 | 19,922 | 20,715 | 40,637 |
| 茅野市 | 45,771 | 44.27 | 45,440 | 48.03 | 45,819 | 40.59 | 45,805 | 56.97 | 22,747 | 23,130 | 45,877 |
| 市 計 | 128,227 | 46.87 | 127,111 | 49.54 | 127,867 | 43.45 | 127,315 | 58.11 | 62,434 | 64,946 | 127,380 |
| 下諏訪町 | 17,261 | 49.01 | 16,970 | 53.87 | 16,730 | 47.27 | 16,642 | 59.85 | 7,978 | 8,629 | 16,607 |
| 富士見町 | 12,225 | 53.05 | 12,067 | 58.17 | 12,060 | 51.63 | 12,027 | 65.48 | 5,876 | 6,190 | 12,066 |
| 原 村 | 6,585 | 48.47 | 6,549 | 51.98 | 6,709 | 46.95 | 6,688 | 62.04 | 3,291 | 3,425 | 6,716 |
| 郡 計 | 36,071 | 50.28 | 35,586 | 54.98 | 35,499 | 48.68 | 35,357 | 62.18 | 17,145 | 18,244 | 35,389 |
| 管内計 | 164,298 | 47.62 | 162,697 | 50.73 | 163,366 | 44.59 | 162,672 | 58.96 | 79,579 | 83,190 | 162,769 |
| 県 計 | 1,739,481 | 43.28 | 1,412,665 | 47.57 | 1,732,060 | 44.40 | 1,727,255 | 59.77 | 839,720 | 887,865 | 1,727,585 |

環境課

令和4年度

環 境 課

1 概 況

諏訪湖や八ヶ岳中信高原国定公園をはじめ当地域の豊かな自然環境を保全し、次世代に引き継ぐとともに、良好な生活環境を保全し、県民の安全・安心を確保するため、幅広い環境保全のための施策を推進している。

2 自然保護対策

(1) 自然公園等の管理

ア 自然公園法等による規制

優れた自然の風景地を保護するとともに、利用の増進を図るため、自然公園法、自然環境保全条例に基づく許可等を行い、周辺環境との調和のとれた開発と環境保全への配慮を指導している。

自然公園法等許可・届出件数

| 公 園 名 | 年 度 | 新 工 増 作 改 築 の 物 の | の 広 設 告 置 物 の | 形 土 状 地 変 更 の | そ の 他 | 計 |
|--------------------------|-----|----------------------------------|------------------------|------------------------|----------|-----|
| 八ヶ岳中信高原 国定公園 (許 可) | 元 | 117 | 11 | 4 | 60 | 192 |
| | 2 | 113 | 6 | 4 | 26 | 149 |
| | 3 | 122 | 1 | 5 | 34 | 162 |
| 塩 嶺 王 城 県立公園 (届 出) | 元 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 市町村名 | 元年度 | 2年度 | 3年度 |
|---------|-----|-----|-----|
| 岡 谷 市 | 9 | 9 | 9 |
| 諏 訪 市 | 37 | 19 | 36 |
| 茅 野 市 | 137 | 116 | 112 |
| 下 諏 訪 町 | 8 | 5 | 4 |
| 富 士 見 町 | 2 | 0 | 1 |
| 原 村 | 1 | 2 | 0 |
| 計 | 194 | 151 | 162 |

イ 自然環境保全条例による規制

大規模開発調整地域における一定の開発行為について、条例に基づく届出及び自然保護協定の締結により、調和のとれた開発と環境の保全を図っている。

ウ 希少野生動植物保護条例による規制

条例に基づき指定された希少野生動植物の保護を図るため、動植物の捕獲及び採取に係る許認可事務を行っている。

(2) 自然保護活動の普及・啓発

ア 霧ヶ峰自然保護センターの運営とパークボランティアの活動

霧ヶ峰自然保護センターに自然公園管理員を配置し(通年3名、夏季4名)、霧ヶ峰の自然に関する館内展示による解説、自然観察会の開催等により、自然保護活動の普及啓発に努めている。

平成16年度からはパークボランティアを募集し、霧ヶ峰自然保護センターを拠点に霧ヶ峰の自然保護と適正な利用を図るための巡回活動、花の名札付け、草刈り、電気柵管理などの活動を自然公園管理員と協働して行っている。

また、霧ヶ峰自然保護センターを霧ヶ峰のエコツアーの拠点として、エコツアーの普及・拡大、さらに自然環境の保全・再生と観光利用の両立を図るセンターとするため、霧ヶ峰自然保護センター機能強化方針（令和元年6月策定）に基づき、令和3年度に展望テラスの新設、展示の充実、施設のゼロエネルギー化等の改修工事を実施した（自然保護課）。また、令和4年度から民間事業者のノウハウを活用した効果的・効率的な質の高いサービスを提供するために、一般社団法人諏訪観光協会が指定管理者として管理運営を行っていく。

自然保護センターの利用状況等

（単位：日、人）

| 年度 | 開館日数 | 利用者数 | 1日平均利用者数 | パークボランティア | | |
|----|------|--------|----------|-----------|------|-------|
| | | | | 登録者数 | 活動日数 | 延活動者数 |
| 30 | 185 | 13,993 | 76 | 101 | 113 | 757 |
| 元 | 194 | 12,865 | 66 | 102 | 128 | 756 |
| 2 | 153 | 7,047 | 46 | 103 | 74 | 397 |
| 3 | 137 | 5,245 | 38 | 104 | 103 | 562 |

イ 自然保護レンジャーの活動

自然公園等の保護と適切な利用、自然環境の保全に関する意識の高揚を図るため、自然保護レンジャーを委嘱し、自然公園等の巡視や情報提供などの活動を実施している。（管内42人委嘱）

ウ 自然観察インストラクター等の情報提供

多くの県民が自然に親しみ、学習することができる機会の充実を図るため、植物、鳥、昆虫、星座等に関する知識を持つ個人及び県内で自然解説事業を行っているNPO法人等の団体を、自然観察インストラクター及び自然解説団体として登録し、希望者に自然観察会等の情報提供や、自然解説等を実施している。

エ 希少野生動植物保護監視員の活動

希少野生動植物保護条例に基づき指定された希少野生動植物を保護するため、希少野生動植物保護監視員を委嘱し、生息地・生育地の監視指導及び定点観測などの活動を実施している。（管内21名委嘱）

(3) 霧ヶ峰自然環境保全協議会の活動

霧ヶ峰に関わる団体の代表者が一堂に会して、霧ヶ峰の保護と利用のあり方について総合的に協議・検討し、目指すべき霧ヶ峰の姿を描き、実現することを目指して、平成19年11月に霧ヶ峰自然環境保全協議会（通称「霧ヶ峰みらい協議会」）を設立し、地域住民との協働による外来種の駆除や優占種の刈取などの自然保全再生作業を実施している。

また、ニッコウキスゲなどの高山植物をニホンジカの食害から守るため、協議会構成団体において、八島ヶ原湿原を囲む鋼鉄柵や、車山肩・富士見台等に電気柵を設置している。

3 廃棄物対策

(1) 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

大量生産・大量消費・大量廃棄の社会を改め、環境への負荷の少ない循環型社会を構築するため、循環型社会形成推進基本法、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、小型家電リサイクル法等が制定されている。

これらに基づく対策が着実かつ円滑に実施されるよう、市町村に対する容器包装廃棄物の分別回収や廃家電のリサイクルについての支援を行っている。

また、「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト」、「残さず食べよう！30・10運動」、「信州プラスチックスマート運動」などの推進により廃棄物の発生抑制に努めている。

(2) 浄化槽対策

浄化槽の適正な維持管理を図るため、立入検査を実施し、指導を行っている。

浄化槽設置状況及び立入検査状況

(令和4年3月31日現在)

| 区分 | 合併処理浄化槽 | 単独処理浄化槽 | 計 | |
|----------|---------|---------|-----|-------|
| 設置 基数 | 岡谷市 | 55 | 79 | 134 |
| | 諏訪市 | 404 | 90 | 494 |
| | 茅野市 | 1,866 | 509 | 2,375 |
| | 下諏訪町 | 10 | 23 | 33 |
| | 富士見町 | 1,182 | 46 | 1,228 |
| | 原村 | 1,244 | 6 | 1,250 |
| | 計 | 4,761 | 753 | 5,514 |
| 立入検査件数 | 112 | | | |
| 指導件数 | 45 | | | |

4 水環境、大気環境等の保全

(1) 水環境保全の推進

ア 諏訪湖水質保全対策

諏訪湖の水質は中長期的には改善の傾向にあるが、ヒシの大量繁茂、沿岸域への貧酸素水塊の拡大など新たな問題が発生している。こうした中、平成30年3月には湖沼水質保全特別措置法に基づく第7期湖沼水質保全計画を取り込んだ「諏訪湖創生ビジョン」を策定し、諏訪湖の水質保全対策、貧酸素対策、ヒシの大量繁茂対策等を総合的・計画的に推進している。

「諏訪湖創生ビジョン」における水質保全対策の概要

| | |
|------------------|---|
| 水質目標 (2021年度) | COD75%値：4.8mg/L（参考）COD年平均値：4.4mg/L 全窒素：0.65mg/L、全りん：現状の維持・向上、透明度：1.3m以上 |
| 施 策 | <ul style="list-style-type: none"> ・水質の保全に資する事業 生活排水処理施設の整備、流入河川及び湖内の浄化対策（ヒシの除去、沈澱ピットの設置等） ・水質保全のための規制その他の措置 工場・事業場排水対策、生活排水対策、畜産業・魚類養殖に係る汚濁負荷対策、流出水対策、湖辺の自然環境の保護 ・その他水質保全のために必要な措置 公共用水域の水質監視、調査研究の推進、普及啓発事業、学習活動の推進、環境保全団体が取組む貧酸素対策及び底質改善の支援 |

▶ 諏訪湖の水質の現状（令和3年度）

COD75%値 5.5mg/L、COD年平均値 3.9mg/L、全窒素 0.62mg/L、全りん 0.041mg/L、透明度 1.2m

イ 水質関係施設立入検査

水質汚濁を防止するため、特定施設等の立入検査を実施し、指導を行っている。

水質関係施設設置状況及び立入検査状況

（令和4年3月31日現在）

| 区 分 | 水質汚濁防止法 | 県公害防止条例 | 湖 沼 法 | 計 | |
|------------------|---------|----------|-------|-----|----------|
| 事 業 場 数 | 岡 谷 市 | 1 6 9 | 8 | 7 | 1 8 4 |
| | 諏 訪 市 | 2 7 9 | 8 | 1 5 | 3 0 2 |
| | 茅 野 市 | 6 8 2 | 3 | 4 5 | 7 3 0 |
| | 下諏訪町 | 8 3 | 3 | 4 | 9 0 |
| | 富士見町 | 1 5 7 | 1 | 9 | 1 6 7 |
| | 原 村 | 1 1 4 | 0 | 5 | 1 1 9 |
| | 計 | 1, 4 8 4 | 2 3 | 8 5 | 1, 5 9 2 |
| 立入検査件数 | 7 0 | 0 | 2 8 | 9 8 | |
| 指 導 件 数 | 2 6 | 0 | 9 | 3 5 | |

ウ 水質測定

公共用水域の水質を監視するとともに、事業場排水等の水質検査を行っている。

公共用水域水質測定状況及び事業場排水等検査状況 (令和3年度)

| 区分 | 測定地点等 | 検体数 | 検査項目数 |
|---------|---------------|-----|-------|
| 主要河川、湖沼 | 6河川9地点、3湖沼5地点 | 309 | 5,244 |
| 地下水 | 17地点 | 19 | 237 |
| 上流域河川 | 2河川2地点 | 4 | 39 |
| 特定汚染源 | 事業場排水、水質汚濁事故等 | 56 | 618 |

河川・湖沼の地点別環境基準達成状況 令和2年度(左)、令和3年度(右)

| 水域名 | 類型 | 測定地点名(市町村) | pH | | BOD | | COD | | 浮遊物質 | | 溶存酸素 | | 大腸菌群 | | 全窒素 | | 全りん | |
|-----|-----------------|---------------|----|---|-----|---|-----|---|------|---|------|---|------|---|-----|---|-----|---|
| | | | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● |
| 宮川 | A | 西茅野大橋(茅野市) | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | | | | |
| | | 宮川橋(諏訪市) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | | | | |
| 上川 | A | 矢ヶ崎橋(茅野市) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | | | | |
| | | 渋崎橋(諏訪市) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | | | | |
| 砥川 | A | 鷹の橋(下諏訪町) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | | | | |
| 横河川 | A | よこかわ川橋(岡谷市) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | | | | |
| 天竜川 | B | 釜口水門(岡谷市) | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| | | 天白橋(岡谷市) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | | |
| 釜無川 | AA | 武智川合流点上(富士見町) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 諏訪湖 | A (IV) 参考 | 湖内(3地点) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ |
| | | 初島西(諏訪市) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 湖心 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 塚間川沖(岡谷市) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 白樺湖 | A | 流出部(茅野市) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 蓼科湖 | A | 流出部(茅野市) | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | |

注1) ○は環境基準達成、●は環境基準未達成を示す。

注2) 項目ごとの環境基準の評価方法は以下のとおりである。

- ・pH 最大値及び最小値で評価
- ・BOD、COD 日間平均値の75%値で評価
- ・全窒素、全りん 表層のみの年間平均値で評価
- ・その他の項目 日間平均値で評価

注3) 複数の地点で測定をしている湖沼は、当該湖沼の全ての環境基準点において環境基準を達成している場合に、その湖沼は環境基準を「達成」したものとする。

生活環境の保全に関する環境基準（河川）

| 項目 類型 | p H | B O D | 浮遊物質 質量 | 溶存酸素 量 | 大腸菌群 数 |
|----------|---------|---------|------------|-----------|------------------|
| A A | 6.5～8.5 | 1mg/L以下 | 25mg/L以下 | 7.5mg/L以上 | 50MPN/100mL以下 |
| A | 6.5～8.5 | 2mg/L以下 | 25mg/L以下 | 7.5mg/L以上 | 1,000MPN/100mL以下 |
| B | 6.5～8.5 | 3mg/L以下 | 25mg/L以下 | 5mg/L以上 | 5,000MPN/100mL以下 |

生活環境の保全に関する環境基準（湖沼）

| 項目 類型 | p H | C O D | 浮遊 物質 質量 | 溶存 酸素 量 | 大腸菌群 数 | 全窒素 | 全りん |
|----------|---------|-------------|----------------|---------------|----------------------|---------------|----------------|
| A | 6.5～8.5 | 3mg/L 以下 | 5mg/L 以下 | 7.5mg/L 以上 | 1,000MPN/100mL 以下 | — | — |
| IV | — | — | — | — | — | 0.6mg/L 以下 | 0.05mg/L 以下 |

(2) 大気環境保全の推進

ア 大気関係施設立入検査

大気汚染を防止するため、ばい煙発生施設及び粉じん発生施設の立入検査を実施し、指導を行っている。

大気関係施設設置状況及び立入検査状況

(令和4年3月31日現在)

| 区分 | 大気汚染防止法 | | 県公害防止条例 | | 計 | |
|---------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|
| | ばい煙発生施設 | 粉じん発生施設 | ばい煙発生施設 | 粉じん発生施設 | | |
| 施設 数 | 岡谷市 | 123 | 2 | 3 | 47 | 175 |
| | 諏訪市 | 109 | 4 | 0 | 17 | 130 |
| | 茅野市 | 231 | 42 | 0 | 22 | 295 |
| | 下諏訪町 | 21 | 9 | 5 | 28 | 63 |
| | 富士見町 | 111 | 77 | 0 | 15 | 203 |
| | 原村 | 14 | 4 | 0 | 0 | 18 |
| | 計 | 609 | 138 | 8 | 129 | 884 |
| 立入検査件数 | 111 | 0 | 0 | 0 | 111 | |
| 指導件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

イ 大気測定

大気測定監視局により大気の状態を常時監視しており、光化学オキシダントを除いて、全ての項目で環境基準を達成している。

有害大気汚染物質についても、環境基準や指針値を達成している状況である。

大気常時監視測定状況

(令和3年度)

| 区分 | 測定地点 | 測定項目 |
|--------|-------------|--|
| 一般環境大気 | 諏訪局（諏訪合庁） | 二酸化硫黄(SO ₂)、浮遊粒子状物質(SPM)、一酸化窒素(NO)、二酸化窒素(NO ₂)、光化学オキシダント(Ox)、微小粒子状物質(PM _{2.5})、風向、風速、気温、湿度（10項目） |
| 道路周辺大気 | 岡谷インターチェンジ局 | SPM、NO、NO ₂ 、PM _{2.5} 、風向、風速（6項目） |

大気常時監視の環境基準達成状況

(令和3年度)

| 測定地点 | 二酸化硫黄 | 二酸化窒素 | 光化学オキシダント | 浮遊粒子状物質 | 微小粒子状物質 |
|-------------|-------|-------|-----------|---------|---------|
| 諏訪局(諏訪合庁) | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |
| 岡谷インターチェンジ局 | — | ○ | — | ○ | ○ |

注) ○は環境基準達成、●は環境基準未達成を示す。

有害大気汚染物質測定状況

| 区分 | 測定地点 | 測定項目数 |
|----------|-----------|-------|
| 全国標準監視地点 | 諏訪局(諏訪合庁) | 21項目 |

ウ 騒音測定

道路騒音について、一般国道及び県道の6地点(全て富士見町)において、24時間測定を実施した。

(3) ダイオキシン類対策の推進

ダイオキシン類による環境の汚染を防止するため、ダイオキシン類関係施設の立入検査を実施し、指導を行っている。

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により施設の立入検査は、実施できなかった。

ダイオキシン類関係施設設置状況及び立入検査状況
(令和4年3月31日現在)

| 区分 | | 水 質 | |
|--------|------|----------|---|
| | | 下水道終末処理場 | 計 |
| 施設数 | 岡谷市 | 0 | 0 |
| | 諏訪市 | 1 | 1 |
| | 茅野市 | 0 | 0 |
| | 下諏訪町 | 0 | 0 |
| | 富士見町 | 0 | 0 |
| | 原 村 | 0 | 0 |
| | 計 | 1 | 1 |
| 立入検査件数 | | 0 | 0 |
| 指導件数 | | 0 | 0 |

(4) 公害苦情、水質汚濁事故への対応

公害苦情については、「公害苦情処理要領」により処理を行っている。

また、水質汚濁事故については、「諏訪地域における水質汚濁事故発生時の緊急連絡処理要領」により、被害の未然防止・拡大防止に努めている。

公害苦情件数 (令和3年度)

| 区分 | 大気汚染 | 水質汚濁 | 土壌汚染 | 騒音 | 振動 | 地盤沈下 | 悪臭 | その他 | 計 |
|----|------|------|------|----|----|------|----|-----|---|
| 件数 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |

水質汚濁事故件数 (令和3年度)

| 区分 | 油の流出 | その他 | 不明 | 計 |
|----|------|-----|----|----|
| 件数 | 34 | 6 | 11 | 51 |

5 水道事業の監視指導

管内の水道普及率は高く、安定した供給がなされているが、安全でおいしい水道水の供給、老朽化した施設の更新等の課題も抱えている。

そこで、平成 29 年 3 月に策定した「長野県水道ビジョン」の基本理念である「人口減少社会の中でも安心安全な水道水を届ける」ことを実現するための具体的方策を進めるにあたり、平成 29 年 12 月に「諏訪圏域水道事業広域連携検討会」を設置し、管内市町村と広域連携に関して検討を行ってきた。

さらに、令和 4 年度は「長野県広域化推進プラン」を策定するため、上記検討会において、管内市町村のデータを共有した上広域連携シミュレーション結果に基づき広域連携の方向性について協議を進め、合意された内容をまとめていく予定である。

また、水道法に基づく水道施設への立入検査により、水道事業者に必要な指導を行っている。

水道普及状況等

(令和 4 年 3 月 31 日現在)

| 区分 | 上水道 (箇所) | 簡易水道 (箇所) | 専用水道 (箇所) | 計 (箇所) | 行政区域内人口 (人) | 給水人口 (人) | 普及率 (%) | 飲料水供給施設 (箇所) | 簡易給水施設 (箇所) | 簡易専用水道 (箇所) | 準簡易専用水道 (箇所) |
|------|-------------|--------------|--------------|-----------|----------------|-------------|------------|-----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 岡谷市 | 1 | 1 | 1 | 3 | 48,572 | 48,430 | 99.7 | | | 58 | 316 |
| 諏訪市 | 1 | 2 | 0 | 3 | 48,786 | 48,733 | 99.9 | 1 | 1 | 80 | 115 |
| 茅野市 | 6 | 10 | 1 | 17 | 55,058 | 53,036 | 96.3 | 1 | 2 | 68 | 154 |
| 下諏訪町 | 1 | | 2 | 3 | 19,242 | 19,234 | 100.0 | | | 17 | 119 |
| 富士見町 | 1 | | | 1 | 14,270 | 13,989 | 98.0 | | | 23 | 38 |
| 原村 | 1 | 1 | | 2 | 8,015 | 7,983 | 99.6 | | | 4 | 7 |
| 計 | 11 | 14 | 4 | 29 | 193,943 | 191,405 | 98.7 | 2 | 3 | 250 | 749 |
| 監視件数 | 11 | 14 | — | 25 | — | — | — | — | — | 0 | 0 |
| 指導件数 | 11 | 14 | — | 25 | — | — | — | — | — | 0 | 0 |

注 1) 行政区域内人口、給水人口及び普及率は、令和 3 年 3 月 31 日現在の値

注 2) 原村上水道が一部茅野市にも給水している。

注 3) 専用水道については市町村、市へ設置している飲料水供給施設、簡易給水施設、簡易専用水道及び準簡易専用水道については市が事務を所管している。

注 4) 監視件数及び指導件数については県が実施したもの。

6 脱炭素社会の構築

(1) 長野県地球温暖化対策条例に基づく対策の推進

事業活動等により排出される温室効果ガスの削減を図るため、一定の事業者に対して事業活動温暖化対策計画書等の提出、自らの公表を求め、事業者の自主的・計画的な取組の促進を図っている。

自動車使用に関する地球温暖化対策として、一定規模以上の駐車場の設置者、管理者の駐車場利用者へのアイドリング・ストップ実施の周知について実施状況調査を実施している。

また、一定規模以上の電気機器等販売事業者の省エネラベルの掲出について実施状況調査を実施している。

長野県地球温暖化対策条例に基づく対策の実施状況 (令和3年度)

| | |
|--------------------------|------|
| 事業活動温暖化対策計画書等提出事業者数 | 28業者 |
| アイドリング・ストップ実施の周知実施状況調査件数 | 25件 |
| 省エネラベルの掲出実施状況調査件数 | 5件 |

(2) 長野県地球温暖化防止推進員の委嘱

地域における温暖化対策を推進するため、長野県地球温暖化防止推進員を委嘱し、地球温暖化防止に係る普及啓発や情報提供、地域におけるネットワークづくりなどの活動を実施している。(管内7名委嘱)

(3) 諏訪地域の再生可能エネルギーの状況

諏訪地域においては、晴天率が高い等の気象条件を活かし、太陽光を中心とした自然エネルギーの導入が進められている。

県では、令和元年12月に「長野県気候非常事態宣言」を行い、これを踏まえ、令和2年4月に、「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」にするための「長野県気候危機突破方針」を策定している。また、令和2年10月に、2050年ゼロカーボンを目標に掲げる「長野県脱炭素社会づくり条例」が施行され、令和3年6月に「長野県ゼロカーボン戦略」を策定し、2030年までにCO₂等の60%削減を掲げている。

具体的な取組としては、ソーラーポテンシャルマップによる屋根ソーラーの最大限の普及、共同購入「グループパワーチョイス」、既存住宅エネルギー自立化補助金等により、再生可能エネルギーの普及拡大と自家消費型へのライフスタイルの転換を促している。

下水熱利用としては、長野県の流域下水道初の事業として、諏訪湖流域下水道の下水熱を諏訪赤十字病院の冷暖房施設に使用するための協定を平成29年11月に締結し、平成30年4月から供用開始している。

また、太陽光発電や小水力発電、温泉熱発電等の再生可能エネルギーの導入が市町村や民間事業者により進められている。一方、太陽光発電施設による環境影響等の課題に対応するため、諏訪管内の県及び市町村による「再生可能エネルギー諏訪地域連絡会議」を令和3年10月に開催する等、地域の環境に配慮した再生可能エネルギー事業の促進を図っている。

農地整備課

令和4年度

農地整備課

1 概況

当管内のうち八ヶ岳西麓地域は、昭和40年代から近年にかけてほ場整備を実施しており、また地域を南北に貫く広域農道「八ヶ岳エコーライン」の開通により、大規模経営体等による水稻や野菜・花きの主要産地となっている。

一方、諏訪湖周辺地域は、農振農用地が諏訪湖南側に300ha程度まとまっているが、この区域は宅地の混在化が激しい上、農業用排水施設の老朽化が進んでいる。今後は農地として保全していくエリアの設定や、施設改修等の対策を講じる必要がある。その他の区域では農地は少なく、地形条件や整備コストの面から未整備の農地が多い。

管内の耕地面積は5,916haで、そのうち4,116haが整備済みであり、整備率(69.6%)は県全体(60.2%)を上回っている。一方で、畑地かんがい施設の整備率(10.9%)は、県全体(28.0%)より低い。

(単位: ha)

| 区分 | 耕地面積 | 整備済み面積 | 整備率 | 畑地かんがい | | |
|------|------|---------|--------|--------|--------|-------|
| | | | | 整備済み面積 | 整備率 | |
| 諏訪管内 | | 5,916 | 4,116 | 69.6% | — | — |
| | 水田 | 3,285 | 2,987 | 90.9% | — | — |
| | 畑 | 2,631 | 1,129 | 42.9% | 286 | 10.9% |
| 県全体 | | 105,320 | 63,436 | 60.2% | — | — |
| | 水田 | 51,881 | 44,589 | 85.9% | — | — |
| | 畑 | 53,439 | 18,847 | 35.3% | 14,938 | 28.0% |

※令和2年度末実績(農地整備課調べ)

管内には、受益面積100ha以上の基幹的な農業用排水路が約75kmあり、そのうち約41km(54.3%)が改修されているが、土型水路の箇所も多く残っている。また、白樺湖、蓼科湖をはじめとする62箇所の農業用ため池がある。

| 区分 | 基幹的な 用排水路延長 | 整備済み延長 | 整備率 | 農業用ため池数 |
|----|----------------|--------|-----|---------|
| | | | | |

※令和3年度末実績(農地整備課調べ)

2 農業農村整備事業の概要

現在「第3期長野県食と農業農村振興計画 H30～R4」及び「長野県農業農村整備計画(第8次長野県土地改良長期計画) H30～R4」に基づき、『水・土・里を支え活かし、次代へつなぐ農業農村整備』の実現に向け、事業を進めている。

今後も老朽化した農業用排水路や農業用ため池等の農業用施設の更新・整備や収益性を高める農地の整備が必要であり、八ヶ岳西麓地域を中心に農業農村整備事業を実施している。

また、急峻な地形や豊富な水量を活かし、農業用水を活用した小水力発電の導入を支援している。

3 事業実施状況

(1) 稼ぐ農業を支える基盤整備の推進

ア 県営かんがい排水事業

農業水利施設は食料生産のみならず洪水防止や防火用水、地域の景観形成など重要な役割を果たすが、管内の農業用水路は土型水路も多く、将来にわたり持続的に機能を発揮させるため、基幹的農業用水路の整備を推進する。

(単位：千円)

| 地区名 | 実施年度 | 全体事業費 | R3年度まで | R4年度 | | R5年度以降 | 関係市町村 |
|------------|------------|---------|---------|--------------------|-------|---------|-------|
| | | | | | 進捗率 | | |
| 大河原堰 | H29 ～R4 | 307,000 | 234,000 | (11,000) 62,000 | 100% | — | 茅野市 |
| 滝之湯堰 | R4 ～R8 | 400,000 | — | 30,000 | 7.5% | 370,000 | 茅野市 |
| 計 (2地区) | | 707,000 | 234,000 | (11,000) 92,000 | 47.7% | 370,000 | |

※R4年度欄の上段()は、R3年度からの繰越額で外数

イ 経営体育成基盤整備事業

大区画化や湧水処理、除礫、用水の自動給水化等の農地の条件整備により、営農の効率化と農地の汎用化を図り、水稻から野菜等の高収益作物への転換や、水管理コストの徹底的な削減による水田農業の強化を進め、農業生産法人など担い手への農地集積・集約化を促進する。

(単位：千円)

| 地区名 | 実施年度 | 全体事業費 | R3年度まで | R4年度 | | R5年度以降 | 関係市町村 |
|------------|------------|-----------|---------|---------------------|-------|-----------|-------|
| | | | | ※R3補正内数 | 進捗率 | | |
| 小六 | R元 ～R5 | 320,000 | 166,457 | (61,000) 39,933 | 83.6% | 52,610 | 富士見町 |
| 諏訪平 | R4 ～R10 | 1,280,000 | — | 66,000 | 5.2% | 1,214,000 | 諏訪市 |
| 計 (2地区) | | 1,600,000 | 166,457 | (61,000) 105,933 | 20.8% | 1,266,610 | |

※R4年度欄の上段()は、R3年度からの繰越額で外数

ウ 団体営土地改良事業

担い手への農地集積の加速化や農業の高付加価値化を進め、意欲ある農業者が農業を継続できるよう、地域の実情に応じたきめ細かな農地・農業水利施設等の整備を支援する。

(単位：千円)

| 地区名 | 実施年度 | 全体事業費 | R3年度まで | R4年度 | | R5年度以降 | 関係市町村 |
|------------|-----------|--------|--------|--------|------|--------|-------|
| | | | | | 進捗率 | | |
| 農地耕作条件改善事業 | | | | | | | |
| 羽場 | R3 ～R3 | 10,000 | 10,000 | — | 100% | — | 富士見町 |
| 弓振 | R4 ～R4 | 33,600 | — | 33,600 | 100% | — | 原村 |
| 計 (2地区) | | 43,600 | 10,000 | 33,600 | 100% | — | |

(2) 持続的な農業生産活動を支える基盤づくり

ア 県営農村地域防災減災事業

豪雨や地震等の災害から地域住民や農地等を守るため、危険度の高い農業用排水路の改修を実施するとともに、畑地かんがい施設に設置された石綿管の撤去・更新整備を実施する。

(単位：千円)

| 地区名 | 実施年度 | 全体事業費 | R3年度まで | R4年度 | | R5年度以降 | 関係市町村 |
|------------|--------|---------|---------|--------------------|-------|--------|-------|
| | | | | | 進捗率 | | |
| 中新田 | H28～R3 | 420,300 | 391,104 | (29,196) - | 100% | - | 原村 |
| 番飼場 | H29～R5 | 138,000 | 74,540 | (4,560) 20,000 | 71.8% | 38,900 | 原村 |
| 計 (2地区) | | 558,300 | 465,644 | (33,756) 20,000 | 93.0% | 38,900 | |

※R4年度欄の上段()は、R3年度からの繰越額で外数

イ 県営中山間総合整備事業

農業従事者の減少・高齢化や耕作放棄地の増加等の課題を抱える中山間地域において、農業の継続と農村の活性化を図るため、農業生産基盤整備と農村生活環境整備を総合的に実施する。

(単位：千円)

| 地区名 | 実施年度 | 全体事業費 | R3年度まで | R4年度 | | R5年度以降 | 関係市町村 |
|------|--------|-----------|-----------|---------------------|-------|---------|-------|
| | | | | | 進捗率 | | |
| 縄文の里 | H27～R5 | 1,480,000 | 1,088,524 | (119,773) 97,000 | 88.2% | 174,699 | 茅野市 |

※R4年度欄の上段()は、R3年度からの繰越額で外数

ウ 団体営土地改良事業

地震や豪雨に対する危険度の高い農業用ため池の耐性点検を推進するとともに、点検結果を踏まえた整備計画の策定や、地域の安全度を高めるために必要な農業用ため池の整備や廃止を支援する。

(単位：千円)

| 区分 | 箇所数 | 関係市町村 | R4年度事業費 |
|---------------------------|-----|-------|------------------|
| 長寿命化・防災減災事業 (農業用水路) | 1箇所 | 富士見町 | 22,000 |
| 長寿命化・防災減災事業 (ため池の廃止) | 1箇所 | 岡谷市 | 21,000 |
| 長寿命化・防災減災事業 (実施計画策定) | 2箇所 | 岡谷市 | 8,000 |
| 長寿命化・防災減災事業 (ため池耐震性点検) | 1箇所 | 富士見町 | ※R3補正内数 8,500 |

エ 多面的機能支払事業

農業・農村は、水資源のかん養、農村景観の形成、国土や自然環境の保全等、多面的な機能を有している。

将来にわたり、農地、農業用排水路、農道等の地域資源が適切に保全されるよう、「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業者等が地域ぐるみで取り組む共同活動等を支援する。

(単位：ha、千円)

| 区 分 | 組織数 | 対象農用地面積 | R 4年度交付金 |
|------------|-----|---------|----------|
| 多面的機能支払交付金 | 43 | 2,443 | 154,622 |

※R 4年度交付金は、当初要望額（R 4年 4月時点）

オ 地籍調査事業

県土の保全並びに土地に関する施策の基礎資料として活用するため、土地の所有者、地番、地目、境界、面積等の調査を支援する。

(単位：千円)

| 市町村名 | 実施年度 | 対象面積 | R 3年度まで | | R 4年度 事業費 | 備 考 |
|------|------------------|-----------------------|----------------------|------|--------------|---------------|
| | | | 実施面積 | 進捗率 | | |
| 茅野市 | S29～ H24～(再開) | 215.62km ² | 16.28km ² | 7.6% | 15,460 | S32～H23 休止 |

(3) 地域の強みを活かした農村景観や地域資源の活用

ア 農業用水を活用した小水力発電

令和元年5月に公表された「農業用水路を利用した小水力発電の可能性調査」に基づき、農業水利施設の維持管理に係る農業者の負担軽減を図るため、農業用水を活用した小水力発電の導入を支援する。

| 水路名 | 発電施設名 | 設 置 者 | 運 転 開 始 | 最 大 出 力 | 水路管理者 |
|------|----------------|------------|------------|------------|------------------|
| 滝之湯堰 | 蓼科第二発電所 | 三峰川電力(株) | 26年1月 | 141kw | 茅野市滝之湯堰 土地改良区 |
| 〃 | 蓼科第三発電所 | 〃 | 29年9月 | 93kw | 〃 |
| 大河原堰 | 蓼科第四発電所 | 〃 | 29年9月 | 145kw | 茅野市大河原堰 土地改良区 |
| 北の沢堰 | 北ノ沢堰小水力 発電所 | (株)ジェネックス | R元年6月 | 9.2kw | 茅野市湖東笹原 土地改良区 |
| 〃 | 八ヶ岳水力 第二発電所 | 3V小水力発電(株) | R4年3月 | 199KW | 〃 |

イ 信州の農業資産の活用

世界かんがい施設遺産に登録された滝之湯堰や大河原堰をはじめとする歴史ある農業資産の魅力を発信し、新たな観光資源として活用する取組を支援する。

林 務 課

令和4年度

林 務 課

1 概 況

森林は、諏訪湖を取り囲む山地と、八ヶ岳・霧ヶ峰山麓及び釜無山・入笠山山麓等に分布し、カラマツ、アカマツが主要樹種となっている。

管内の森林面積は、50,815ha、森林率 71%（県全体 78%）で、うち民有林は、41,810ha である。なお、主要樹種であるカラマツは、18,385ha で民有林立木地面積の 46%を占めている。

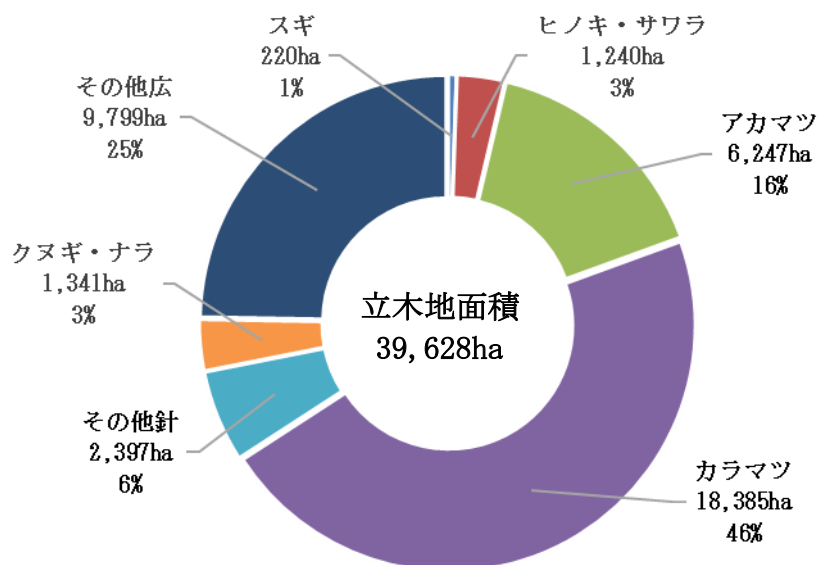
(1) 市町村別森林面積等

(令和3年9月現在)

| 市町村名 | 項目 | 総面積 ha | 森林面積 ha | 森林率 % | 民 有 林 | |
|---------|----|-----------|------------|----------|---------|--------------------|
| | | | | | 面積 ha | 蓄積 千m ³ |
| 岡 谷 市 | | 8,510 | 5,698 | 67 | 5,678 | 1,291 |
| 諏 訪 市 | | 10,917 | 7,278 | 67 | 7,278 | 1,466 |
| 茅 野 市 | | 26,659 | 20,078 | 75 | 15,108 | 2,776 |
| 下 諏 訪 町 | | 6,687 | 5,651 | 85 | 4,020 | 826 |
| 富 士 見 町 | | 14,476 | 10,147 | 70 | 7,766 | 1,711 |
| 原 村 | | 4,326 | 1,962 | 45 | 1,962 | 356 |
| 計 | | 71,575 | 50,815 | 71 | 41,810 | 8,426 |
| 県 全 体 | | 1,356,160 | 1,057,037 | 78 | 686,988 | 138,844 |

(2) 樹種別森林面積（民有林）

(令和3年9月現在)



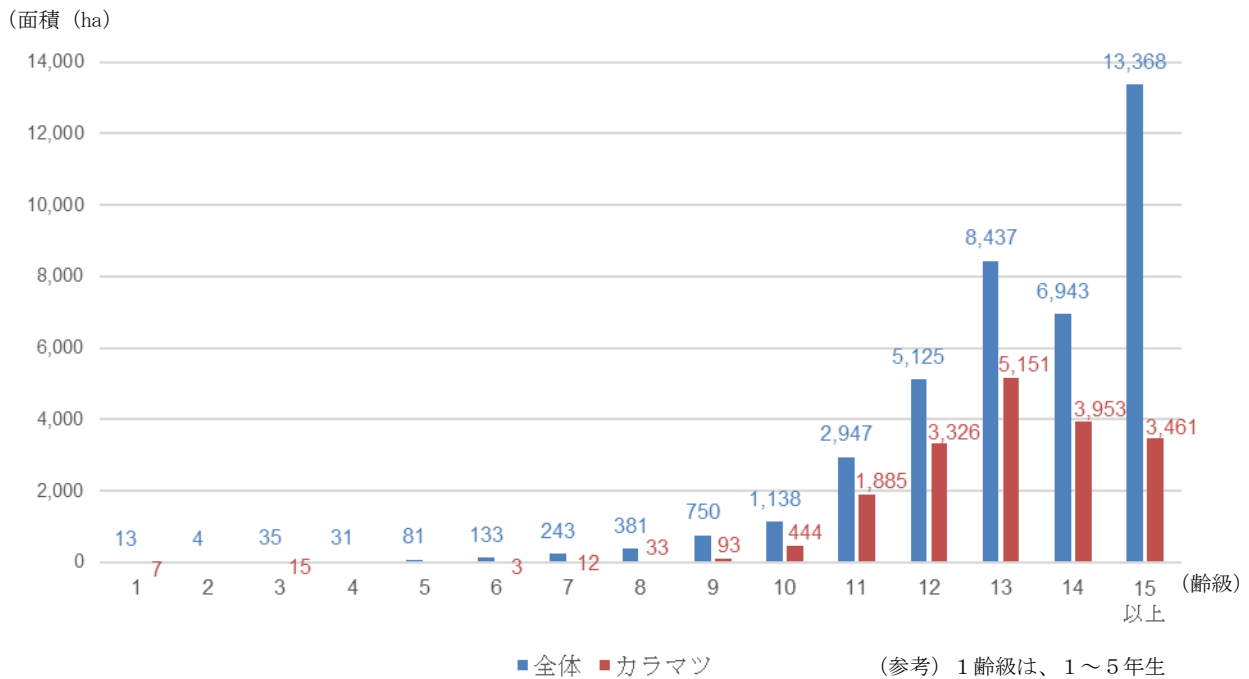
2 健全な森林づくり

管内の民有林は、戦後植林された森林が成熟しつつあり、計画的な間伐と搬出による材の利活用を推進している。

平成 20 年度からは、「長野県森林づくり県民税」を活用した事業を加え、健全な森林づくりに集中的に取り組んでいる。

(1) 民有林の齢級別面積

(令和 3 年 9 月現在)



(2) 間伐実績と目標

(単位：ha)

| 区分 | 5 か 年 の 間 伐 実 績 | | | | | | R 3 年度 目 標 |
|-----|-----------------|--------|--------|-------|--------|--------|---------------|
| | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | R 元年度 | R 2 年度 | 計 | |
| 管 内 | 804 | 747 | 915 | 823 | 701 | 3,990 | 700 |
| 県全体 | 13,634 | 11,314 | 10,992 | 9,652 | 8,821 | 54,413 | |

(3) 林業労働力

林業従事者数は 127 人で、森林組合及び素材・造林業（会社）が全体の 60%を占めている。
(単位：者、人)

| 区 分 | 森林組合 | 素材・造林業(会社) | 個人林業 営 業 体 | NPO法人 | 建設業 (会社) | 合 計 |
|--------|------|------------|---------------|-------|-------------|-------|
| 事業体数 | 1 | 10 | 1 | 1 | 6 | 19 |
| 比率 | 5 % | 53 % | 5 % | 5 % | 32 % | 100 % |
| 林業従事者数 | 13 | 64 | 6 | 16 | 28 | 127 |
| 比率 | 10 % | 50 % | 5 % | 13 % | 22 % | 100 % |

注) 令和2年度林業事業体調査による。

3 森林づくりのための基盤整備

(1) 保安林の面積

(令和3年9月現在)

| 種別 | 水源かん養 | 土砂流出防備 | その他 | 計 |
|-------|---------|----------|------------------|---------|
| | | | (土崩・防風・水害・干害・保健) | |
| 面積 | 5,444ha | 4,409ha | 70ha | 9,923ha |
| 比率 | 54.9% | 44.4% | 0.7% | 100% |
| 民有林面積 | | 41,810ha | 保安林率 | 23.7% |

注)長野県民有林の現況(令和3年)による。

(2) 治山事業

保安林の機能を高度に発揮させるため、計画的な実施に努めている。(単位：円)

| 事業種別 | 令和3年度 実績 | | 令和4年度 計画 | |
|--------------|-----------|------------------------------|-----------|------------------------------|
| | 箇所数 | 事業費 | 箇所数 | 事業費 |
| 流域保全総合治山 | | | 3 | 189,140,000 |
| 復旧治山 | 2 | 54,241,000 | 2 | 120,000,000 |
| 緊急総合治山 | (1) | (24,607,000) | (1) | (57,002,000) |
| 緊急予防治山 | 1 | 20,009,000 | | |
| 緊急機能強化・老朽化対策 | (1) | (24,728,000) | | |
| 水源森林再生対策 | | | (2) | (98,637,000) |
| 奥地保安林保全緊急対策 | 1 | 8,008,000 | | |
| 機能強化・老朽化対策 | (1) | (46,926,000) | | |
| 災害関連緊急治山 | | | (5) | (376,178,000) |
| 県単治山 | 9 | 42,911,000 | (2) 4 | (23,518,000) 12,500,000 |
| 計 | (3) 13 | (96,261,000) 125,169,000 | (10) 9 | (555,335,000) 321,640,000 |

注1) ()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は発注工区数(委託を除く)

注2) 令和3年度補正は、令和4年度計画に含む

注3) 令和4年度県単治山は、4月末時点の確定箇所・事業費

注4) 令和4年度計画の水源森林再生対策事業(繰越)は、令和2年度事故繰越分を含む

(3) 林道事業

林業経営の基盤である林道は、令和 16 年度末で林道密度 14.3m/ha を目標に整備を進めており、令和 2 年度末では 6.1m/ha、進捗率は約 42.7%となっている。

林道網整備長期計画（平成 7～令和 16 年度）

| 全体計画 林内道路 | | 内 訳 (計画) | | | | 令和 2 年度末林道現況 | | |
|--------------|------|----------|------|---------|------|--------------|------|------|
| | | 林内公道 | | 林 道 | | | | |
| 延長 | 密度 | 延長 | 密度 | 延長 | 密度 | 延長 | 密度 | 進捗率 |
| m | m/ha | m | m/ha | m | m/ha | m | m/ha | % |
| 906,085 | 21.7 | 308,653 | 7.2 | 597,432 | 14.3 | 253,475 | 6.1 | 42.7 |

(単位：円)

| 事業種別 | | | 令和 3 年度 実績 | | 令和 4 年度 計画 | |
|------|--------|-------------|------------|------------|------------|------------------------------|
| | | | 箇所数 | 補助対象額 | 箇所数 | 補助対象額 |
| 補助 | 林道 | 改良・ 保全事業 | 1 | 3,465,000 | (1) 2 | (99,176,000) 8,800,000 |
| | 林道施設災害 | 林道復旧 | 1 | 47,280,200 | (12) 1 | (226,414,000) 214,082,000 |
| 計 | | | 2 | 50,745,200 | (13) 3 | (325,590,000) 222,882,000 |

- 注)・上段()書きは前年度からの繰越額で外数、箇所数は路線数 (令和 3 年度改良は委託)
 ・令和 3 年度林道施設災害は委託
 ・令和 4 年度林道施設災害は横河山線が繰越・現年分に工区別れるため両方に箇所数を掲載

4 野生鳥獣被害対策

特定鳥獣管理計画等にもとづき、捕獲及び捕獲個体処理対策、集落周辺の環境整備等を実施し、野生鳥獣による農林業被害の軽減を図っている。

(1) 野生鳥獣による被害額及び捕獲数（狩猟を含む） (単位：千円、頭・羽)

| 区分 | | 年度 | | | | | |
|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 |
| カモシカ | 被害額 | 3,413 | 3,153 | 3,656 | 1,637 | 880 | 934 |
| | 捕獲数 | 6 | 8 | 3 | 1 | 0 | 0 |
| ニホンジカ | 被害額 | 52,884 | 43,572 | 36,808 | 34,391 | 41,241 | 41,004 |
| | 捕獲数 | 4,216 | 3,628 | 3,533 | 3,431 | 3,543 | 3,788 |
| ニホンザル | 被害額 | 2,055 | 2,471 | 2,469 | 2,363 | 3,475 | 2,394 |
| | 捕獲数 | 111 | 50 | 46 | 39 | 47 | 58 |
| ツキノワグマ | 被害額 | 0 | 0 | 784 | 465 | 408 | 225 |
| | 捕獲数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| イノシシ | 被害額 | 5,024 | 1,162 | 1,008 | 1,250 | 1,434 | 1,526 |
| | 捕獲数 | 88 | 139 | 138 | 148 | 138 | 43 |
| その他 獣類 | 被害額 | 5,064 | 6,289 | 5,996 | 6,998 | 5,768 | 5,875 |
| | 捕獲数 | 375 | 367 | 368 | 399 | 349 | 362 |
| 鳥 類 | 被害額 | 4,717 | 5,509 | 8,367 | 6,959 | 6,598 | 6,195 |
| | 捕獲数 | 552 | 617 | 555 | 401 | 554 | 344 |
| 合計被害額 | | 73,157 | 62,156 | 59,088 | 54,063 | 59,804 | 58,153 |

* 単位以下四捨五入の関係で縦集計は必ずしも一致しない。

(2) 野生鳥獣総合管理対策事業補助金 (単位：円)

| 事業種別 | | 令和3年度実績 | | 令和4年度計画（要望額） | |
|----------------------|--------------------------|---------|------------|--------------|------------|
| | | 事業量 | 補助金額 | 事業量 | 補助金額 |
| 緊急捕獲活動支援 (農水省交付金) | 有害捕獲 | 2,387頭 | 17,266,000 | 3,083頭 | 22,231,000 |
| | (小計) | | 17,266,000 | | 22,231,000 |
| 広域捕獲支援 (林野庁交付金) | 広域捕獲支援 | 3市町 | 710,000 | 3市町 | 925,000 |
| | (小計) | | 710,000 | | 925,000 |
| 県費単独 | 大型獣緊急捕獲・放獣 (ツキノワグマ放獣) | 13頭 | 500,500 | 17頭 | 651,000 |
| | シカ等個体数調整・捕獲 | 272頭 | 675,000 | 584頭 | 1,445,000 |
| | 集落等捕獲隊活動支援 | 1市 | 114,000 | 1市 | 200,000 |
| | 鳥獣被害対策実施隊員支援 | 6市町村 | 394,950 | 6市町村 | 482,350 |
| | 残渣処理作設経費 | 0箇所 | 0 | 4箇所 | 200,000 |
| | 銃猟者確保・育成支援 | 0市町村 | 0 | 0市町村 | 0 |
| | (小計) | | 1,684,450 | | 2,978,350 |
| 合計 | | | 19,660,450 | | 26,134,350 |

5 林業生産状況等

令和2年の林業生産額は496,058千円で前年比92%となった。

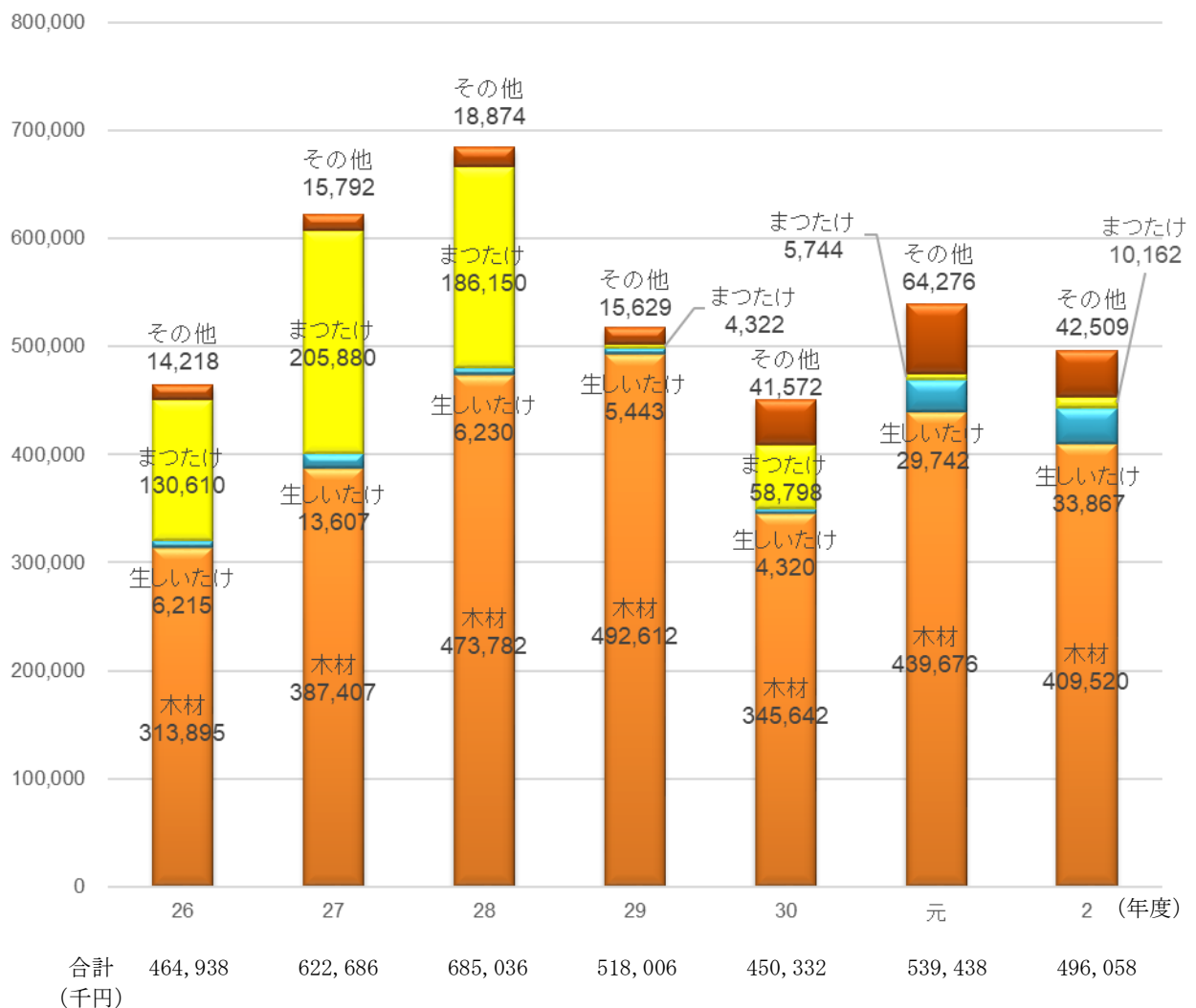
平成元年の木材生産額は、合板需要増などにより回復したが、令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、合板工場の生産調整により需要が減少した。

まつたけは、令和2年も前年に引き続き不作だった。気候条件が整えば豊作が期待できることから、各地でまつたけ山の手入れが盛んに行われている。

(マツタケ収穫量の推移 H29:0.1t、H30:2.9t、R元:0.2t、R2:0.2t)

林業生産額の推移

(千円)



6 森林税活用事業

平成30年度から第3期目の森林税がスタートし、これまでの里山整備に加え、教育や観光等、多面的な森林の利活用に用途を広げ、地域や様々な分野の方々による主体的な里山の整備・利用を推進している。

令和3年度森林税活用事業実績

| 区分 | 令和3年度実施内容 | 箇所・面積・延長等 | 補助金額 | |
|---|--|--|--|-------------------------|
| 1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備 | | | | |
| 防災・減災のための里山等の整備事業 | 【みんなで支える里山整備事業】 「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所の間伐に要する経費を補助 | 諏訪振興局管内一円 42ha | 22,357千円 | |
| | 【ライフライン等保全対策事業】 集落や主要なライフライン(道路・線路・電線等)に接する森林において、倒木の恐れのある危険木伐採に要する経費を補助 | 茅野市、下諏訪町 富士見町、原村 | | 6,790千円 |
| 県民協働による里山の整備・利用事業 | 【みんなで支える里山整備事業】 里山利用整備地域において、集落周辺の電線や建物に隣接する立木の特殊伐採や撤出間伐等に係る経費について補助 | 諏訪市北真志野(3年目) 茅野市永明寺山(4年目) 蓼科高原(2年目) 信州ビーナスライン(2年目) 茅野市小泉山(2年目) | R4予算で 実施 | |
| | 【里山整備利用地域活動推進事業】 里山整備利用地域において、里山整備活動、森林環境教育、薪生産活動、野生鳥獣対策、案内板の設置等に係る経費を補助 | 諏訪市北真志野(3年目) 信州ビーナスライン(2年目) 茅野市小泉山(2年目) | | 266千円 336千円 141千円 |
| | 【里山資源活用推進事業】 里山整備利用地域において、資機材の購入、林内歩道の整備等に係る経費を補助 | 茅野市永明寺山(4年目) 蓼科高原(2年目) 茅野市小泉山(2年目) | | 150千円 826千円 580千円 |
| | 地域で進める里山集約化事業 | 間伐事業実施地の森林所有者の合意形成のための取組に係る経費を補助 | 茅野市 1地区 | 426千円 |
| 河畔林整備事業 | 【県単河畔林整備事業】(諏訪建設事務所) 県が管理する一級河川と市町村が管理する準用河川の河畔林整備 | 準用河川 富士見町母沢川 L=70m | 1,350千円 | |
| 2 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用 | | | | |
| 地消地産による木の香る暮らしづくり事業 | 【木工体験活動支援事業、木質空間整備事業】 学校における木工など、県産材利用の取組に係る経費を補助 | 原村保育園 | 280千円 | |
| | | ちのせいぼ幼稚園 | 140千円 | |
| 薪によるエネルギーの地消地産推進事業 | 【薪によるエネルギーの地消地産推進事業】 里山資源である薪の地域内循環システムの構築に係る経費を補助 | NPO法人 ハヶ岳福祉農園 | 872千円 | |
| 3 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用 | | | | |
| 森林の教育利用の推進事業 | 【学校林等利活用促進事業】 学校林の活用を推進するため、放置され利用困難になっている学校林の整備や、学校林を利用した活動に係る経費を補助 | 茅野市(永明小) 1.5ha | 412千円 | |
| 観光地における景観形成のための森林等の整備事業 | 【観光地等魅力向上森林景観整備事業】 観光地等の魅力向上を図るため、景観に合致した森林整備等に係る経費を補助 | 岡谷市(御野立公園)0.04ha | 840千円 | |
| | | 諏訪市(神宮寺)0.22ha | 445千円 | |
| | | 茅野市(御射鹿池)1.00ha 富士見町(富士見高原)0.42ha | 836千円 1,267千円 | |
| | 【観光地の周辺における街路樹整備事業】 (諏訪建設事務所) 観光地周辺等の街路において、景観形成のための街路樹の整備を実施 | (主)岡谷茅野線 岡谷市(湊～石舟渡) 街路樹剪定工 L=2.0km N=154本 | 4,000千円 | |
| 4 市町村に対する財政調整的視点での支援 | | | | |
| 森林づくり推進支援金 | 森林に関する様々な課題解決のための市町村独自の取組に対する支援 | 岡谷市 諏訪市 茅野市 下諏訪町 富士見町 原村 | 1,293千円 1,387千円 1,874千円 751千円 1,027千円 540千円 | |
| 合計 | | | 49,186千円 | |

商 工 観 光 課

令 和 4 年 度

商工観光課

1 概況

(1) 商業振興

平成28年の経済センサス活動調査によると、管内の事業所数（2,313店、前回調査（24年）比96.7%）は県全体と同じく微減した。また、管内の販売額は4,247億円で、県全体に占める割合は7.8%となっている。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるまん延防止重点措置の発令などに伴い、飲食店は時短・休業要請の影響を受けた。

ここ最近の景気動向は、原材料価格の上昇により、生活必需品の値上がりが消費マインドの低下を招くことが危惧されている。

中心市街地においては、平成31年2月に開業したJR上諏訪駅東口の複合商業施設「アーク諏訪」など再生に向けた動きが見られるが、商店街の空洞化等の課題は残る。

このため、市町村や商工会議所等と連携を図りながら、経営改善、創業支援等を行っている。

(2) 工業振興

工業統計調査結果（2020年）によると、管内の事業所数（従業員4人以上）は764事業所（前年比98.6%・県内2位）、従業員数は26,886人（同97.2%・同4位）で、いずれも前年より減少している。また、令和元年の製造品出荷額等は前年比6.7%減の5,636億円（県内5位）で、前年に続き減少している。これは、自動車や省力化機械関連で堅調な受注が続いた一方、米国と中国との貿易摩擦を背景に海外需要が減少し輸出が伸び悩んだことが影響したとみられる。

製造業は、古くから培ってきた精密加工分野の産業集積が進んでおり、自動車部品を中心に事業を展開している事業者が多いが、近年では、強みである精密加工技術や電子・情報技術を活かして医療・ヘルスケア機器分野への進出や、国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の追加指定を受け航空機・衛星関連産業への参入を目指す取組など、今後の成長期待分野への事業展開が積極的に図られている。この他、日本酒、味噌といった伝統的な醸造、発酵食品の産地でもある。

こうした取組を後押しするため、展示会や技術提案商談会を開催し販路開拓を支援している。特に諏訪地域の強みを国内外へ発信し、新たなビジネスチャンスを獲得するべく平成14年（2002年）から毎年開催している「諏訪圏工業メッセ」は、地方では国内最大級の工業専門展示会との評価を受けるまでに発展している。

(3) 観光振興

管内の令和2年観光地利用者数は、857万3千人で対前年比429万人（33.4%）減、観光消費額は231億58百万円で対前年比123億円（34.6%）減であった。観光地利用者数の県内・県外別及び日帰り・宿泊別の内訳は、県外客73.4%（県平均60.5%）、日帰り80.6%（同67.7%）で、県内客の割合が昨年より増加したものの、概ね従前と同様の傾向となった。全県の観光地利用者数は5,148万人で、前年比3,453万人（40.2%）減、観光消費額は1,841億円で前年比1,229億円（40.0%）減と、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出による外出自粛等の影響により、利用者数の大幅な減少となった。

一方で、密を避けられるレジャーに注目が集まり、アウトドア（アクティビティやキャンプ場等）関連の施設を有する観光地では利用者数の増加がみられた。諏訪管内では、富士見町において「富士見町2大リゾート無料クーポン施策」が好評を博し、コロナ禍においても利用者対前年比増（102.7%）につながった。

令和3年は好調な時期もあったものの、圏域の感染レベルの上昇や、夏場の豪雨の影響をうけ、令和2年と同程度となる見込み。

(4) 就職困難者の雇用促進

障がい者、母子家庭の母、子育てや介護中の女性、引きこもりや発達障がいの方^(※)を対象に、就職に向けた支援を行う無料職業紹介事業を実施している。

就労相談や求職登録を行うほか、求職者の個々の事情に応じた求人開拓に努め、関係機関と連携しながら、安定した就労に結びつけることができるよう取り組んでいる。

※ 令和2年度より引きこもりや発達障がいの方を対象者に追加

2 商業の状況

(1) 市町村別商店数・年間商品販売額の状況

| 区 分 | 平成24年 (経済センサス 活動調査) | 平成28年 (経済センサス 活動調査) | 平成28年 (経済センサス 活動調査) |
|--------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 商店数 | 商店数 | 販売額 (百万円) |
| 岡 谷 市 | 653 | 604 (92.5) | 111,078 |
| 諏 訪 市 | 737 | 709 (96.2) | 177,904 |
| 茅 野 市 | 588 | 575 (97.8) | 83,513 |
| 下 諏 訪 町 | 272 | 251 (92.3) | 37,197 |
| 富 士 見 町 | 120 | 121 (100.8) | 11,893 |
| 原 村 | 55 | 53 (96.4) | 3,074 |
| 管内計 (a) | 2,425 | 2,313 (95.4) | 424,659 |
| 県計 (b) | 25,693 | 24,779 (96.4) | 5,477,086 |
| 県対比 (a)/(b)% | 9.4 | 9.3 | 7.8 |

注) 商店数は、飲食業を除く小売業及び卸売業の合計。()内は前回調査比。

(2) 市町村別大規模小売店舗の状況 (令和4年3月31日現在)

| 区 分 | 大規模小売店舗 | |
|--------------|----------|------------------------|
| | 店舗数 店 | 売場面積 m ² |
| 岡 谷 市 | 14 | 59,471 |
| 諏 訪 市 | 19 | 51,832 |
| 茅 野 市 | 13 | 66,026 |
| 下 諏 訪 町 | 2 | 4,272 |
| 富 士 見 町 | 3 | 9,958 |
| 原 村 | 0 | 0 |
| 管内計 (a) | 51 | 191,559 |
| 県計 (b) | 556 | 2,170,482 |
| 県対比 (a)/(b)% | 9.2 | 8.8 |

注) 大規模小売店舗：売場面積1,000m²超の店舗(大規模小売店舗立地法の対象店舗)

3 工業の状況

(1) 工業の推移

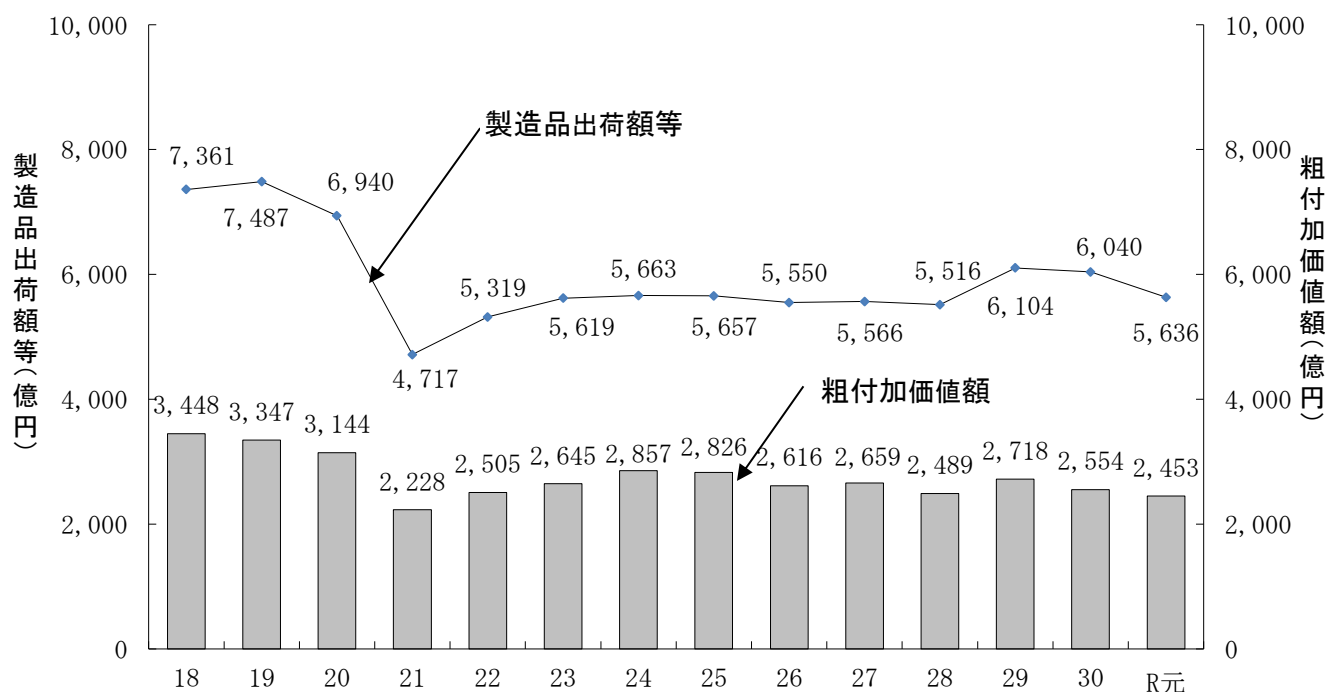
(単位：人・万円・%)

| 年 | 諏訪管内(A) | | | | 県計(B) | | | | 県対比 | | |
|----|---------|--------|------------|-------|-------|---------|-------------|-------|------|------|------|
| | 事業所数 | 従業者数 | 製造品出荷額等 | | 事業所数 | 従業者数 | 製造品出荷額等 | | 事業所数 | 従業者数 | 出荷額等 |
| | | | 金額 | 前年比 | | | 金額 | 前年比 | | | |
| 18 | 1,014 | 29,611 | 73,612,115 | 89.4 | 6,371 | 215,938 | 636,197,023 | 101.6 | 15.9 | 13.7 | 11.6 |
| 19 | 1,000 | 30,084 | 74,870,854 | 101.7 | 6,358 | 222,000 | 703,320,316 | 110.6 | 15.7 | 13.6 | 10.6 |
| 20 | 1,056 | 29,628 | 69,400,369 | 92.7 | 6,533 | 215,073 | 662,402,159 | 94.2 | 16.2 | 13.8 | 10.5 |
| 21 | 892 | 25,980 | 47,171,501 | 68.0 | 5,790 | 192,602 | 498,392,686 | 75.2 | 15.4 | 13.5 | 9.5 |
| 22 | 855 | 25,629 | 53,191,137 | 112.8 | 5,583 | 191,261 | 563,833,652 | 113.1 | 15.3 | 13.4 | 9.4 |
| 23 | 891 | 25,809 | 56,194,049 | 105.6 | 5,814 | 186,568 | 528,283,600 | 93.7 | 15.3 | 13.8 | 10.6 |
| 24 | 834 | 25,000 | 56,634,248 | 100.8 | 5,470 | 187,888 | 508,780,542 | 96.3 | 15.2 | 13.3 | 11.1 |
| 25 | 809 | 24,876 | 56,566,760 | 99.9 | 5,276 | 189,150 | 511,253,544 | 100.5 | 15.3 | 13.2 | 11.1 |
| 26 | 801 | 25,140 | 55,495,887 | 98.1 | 5,193 | 190,884 | 545,478,425 | 107.2 | 15.4 | 13.2 | 10.2 |
| 27 | - | - | 55,664,359 | 100.3 | - | - | 587,943,220 | 107.8 | - | - | 9.5 |
| 28 | 867 | 24,899 | 55,160,379 | 99.1 | 5,562 | 188,720 | 583,193,468 | 99.2 | 15.6 | 13.2 | 9.5 |
| 29 | 786 | 26,887 | 61,042,610 | 110.7 | 4,994 | 198,887 | 616,813,471 | 105.8 | 15.7 | 13.5 | 9.9 |
| 30 | 797 | 27,418 | 60,401,061 | 98.9 | 4,932 | 202,731 | 646,590,595 | 104.8 | 16.2 | 13.5 | 9.3 |
| 元 | 775 | 27,667 | 56,357,121 | 93.3 | 4,825 | 204,917 | 615,314,593 | 95.2 | 16.1 | 13.5 | 9.2 |
| 2 | 764 | 26,886 | - | - | 4,767 | 202,222 | - | - | 16.0 | 13.3 | - |

注)従業者4人以上の事業所が調査対象。

(資料：令和2年工業統計)

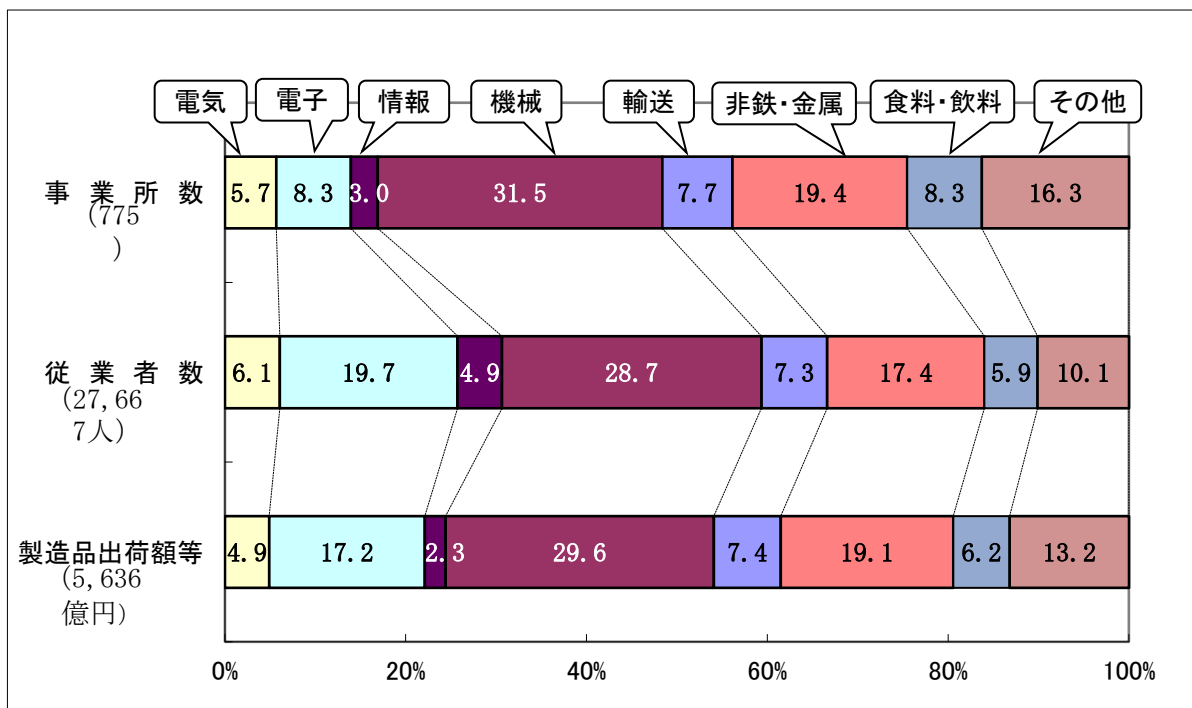
(2) 製造品出荷額等の推移



(資料：工業統計[従業者4人以上の事業所が調査対象])

(3) 管内業種別構成比（令和元年）

（資料：令和2年工業統計）

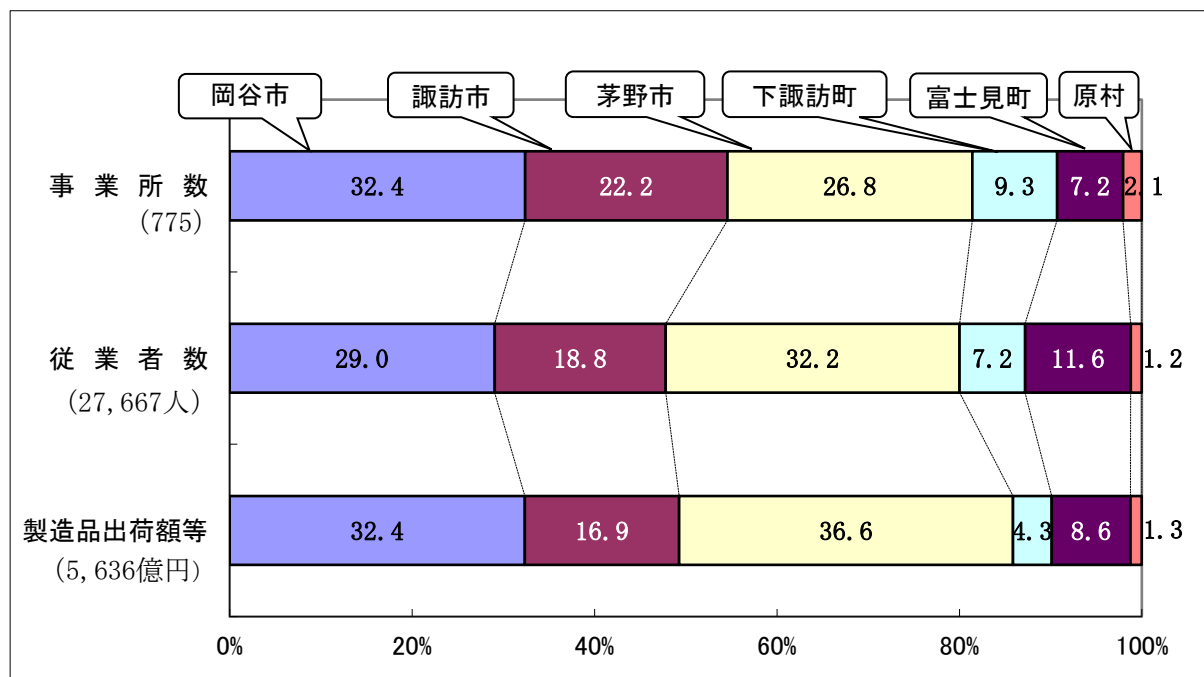


※諏訪地域の業種別出荷額は推計値（一部市町村において秘匿数字があるため）

☆その他の産業： 基礎素材：木材、紙、化学、石油、プラスチック、ゴム、窯業、鉄鋼
生活関連：繊維、家具、印刷、皮、その他

(4) 管内市町村別構成比（令和元年）

（資料：令和2年工業統計）



(5) 輸出の推移

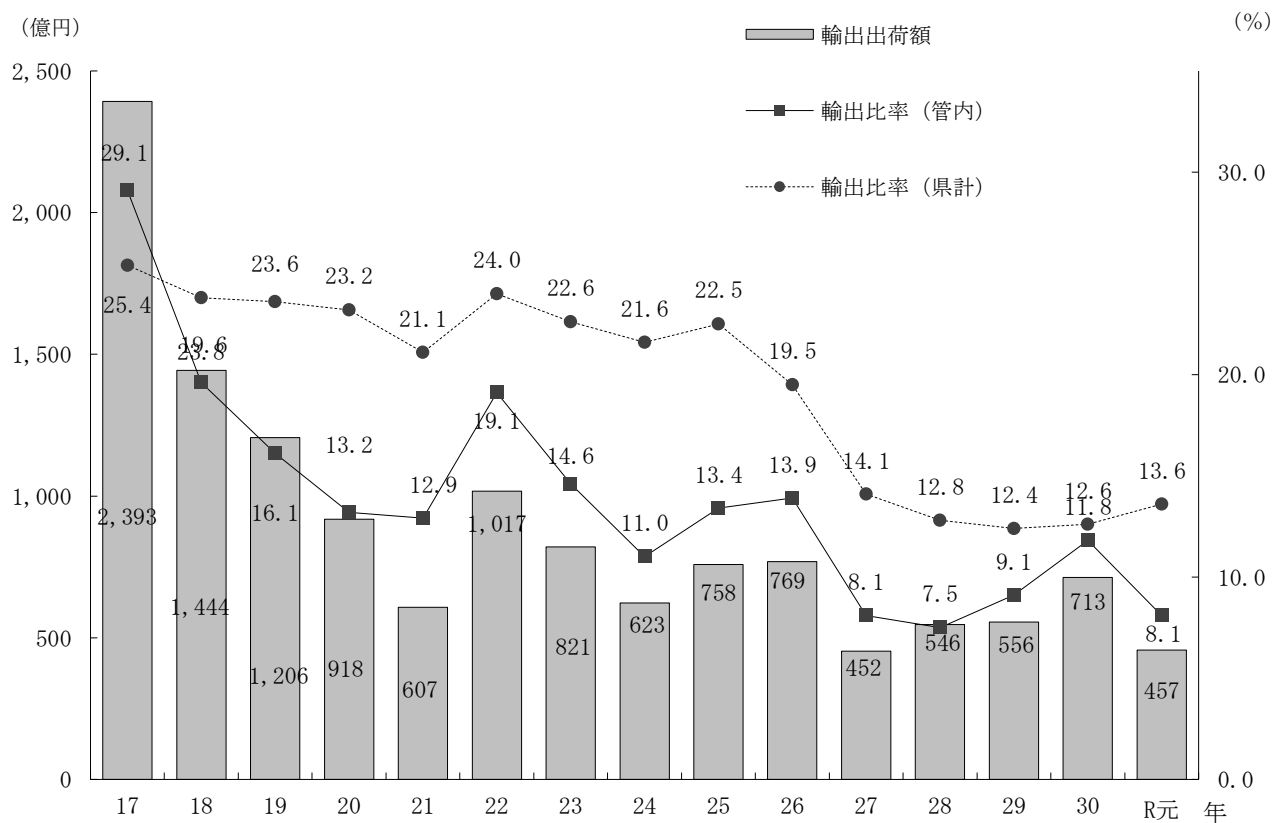
| 年度 | 管内計 (A) | | | | 県計 (B) | | | | 県対比 (A/B) | |
|----|---------|-------|-------|------|--------|--------|-------|------|-----------|------|
| | 事業所数 | 輸出出荷額 | 前年比 | 輸出比率 | 事業所数 | 輸出出荷額 | 前年比 | 輸出比率 | 事業所数 | 輸出額 |
| | | 億円 | % | % | | 億円 | % | % | % | % |
| 17 | 106 | 2,393 | 113.7 | 29.1 | 448 | 15,377 | 117.3 | 25.4 | 23.7 | 15.6 |
| 18 | 99 | 1,444 | 60.3 | 19.6 | 447 | 14,717 | 95.7 | 23.8 | 22.1 | 9.8 |
| 19 | 96 | 1,206 | 83.5 | 16.1 | 462 | 16,177 | 109.9 | 23.6 | 20.8 | 7.5 |
| 20 | 91 | 918 | 76.1 | 13.2 | 445 | 14,881 | 92.0 | 23.2 | 20.4 | 6.2 |
| 21 | 89 | 607 | 66.1 | 12.9 | 437 | 10,188 | 68.5 | 21.1 | 20.4 | 6.0 |
| 22 | 83 | 1,017 | 167.5 | 19.1 | 406 | 13,161 | 129.2 | 24.0 | 20.4 | 7.7 |
| 23 | 74 | 821 | 80.7 | 14.6 | 399 | 11,552 | 87.8 | 22.6 | 18.5 | 7.1 |
| 24 | 97 | 623 | 75.9 | 11.0 | 441 | 10,668 | 92.3 | 21.6 | 22.0 | 5.8 |
| 25 | 80 | 758 | 121.7 | 13.4 | 422 | 11,196 | 104.9 | 22.5 | 19.0 | 6.8 |
| 26 | 74 | 769 | 123.4 | 13.9 | 399 | 9,952 | 93.3 | 19.5 | 18.5 | 7.7 |
| 27 | 69 | 452 | 59.6 | 8.1 | 410 | 7,684 | 68.6 | 14.1 | 16.8 | 5.9 |
| 28 | 73 | 546 | 120.8 | 7.5 | 412 | 7,273 | 94.6 | 12.8 | 17.7 | 7.5 |
| 29 | 59 | 556 | 101.8 | 9.1 | 384 | 7,643 | 105.1 | 12.4 | 15.4 | 7.3 |
| 30 | 61 | 713 | 128.2 | 11.8 | 356 | 8,127 | 106.3 | 12.6 | 17.1 | 8.8 |
| R元 | 69 | 457 | 64.1 | 8.1 | 380 | 8,384 | 103.2 | 13.6 | 18.2 | 5.5 |

(注) 輸出比率＝輸出出荷額／製造品出荷額等

(資料：工業統計・輸出生産実態調査)

輸出生産実態調査：令和元年(2019年)12月31日時点従業員10人以上の製造事業所が対象。製造品出荷額等については4人以上。

(6) 輸出出荷額・輸出比率の推移



4 観光の状況

(1) 観光地利用者数

| 年 | 管内計 | | 県計 | | 県対比 (%) |
|----|------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | 延数 (万人) | 対前年比 (%) | 延数 (万人) | 対前年比 (%) | |
| 22 | 1,530 | 114.8 | 8,680 | 94.6 | 17.6 |
| 23 | 1,316 | 86.0 | 8,435 | 97.2 | 15.6 |
| 24 | 1,311 | 99.6 | 8,473 | 100.5 | 15.5 |
| 25 | 1,317 | 100.5 | 8,555 | 101.0 | 15.4 |
| 26 | 1,293 | 98.2 | 8,418 | 98.4 | 15.4 |
| 27 | 1,315 | 101.7 | 9,331 | 110.8 | 14.1 |
| 28 | 1,470 | 111.8 | 8,958 | 96.0 | 16.4 |
| 29 | 1,292 | 87.9 | 8,710 | 97.2 | 14.8 |
| 30 | 1,292 | 100.0 | 8,710 | 100.0 | 14.8 |
| 元 | 1,287 | 99.6 | 8,601 | 98.7 | 15.0 |
| 2 | 857 | 66.6 | 5,148 | 59.9 | 16.6 |

(資料：観光地利用者統計調査)

(2) 観光消費額

| 年 | 管内計 | | 県計 | | 県対比 (%) |
|----|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| | 延数 (百万円) | 対前年比 (%) | 延数 (百万円) | 対前年比 (%) | |
| 22 | 42,176 | 114.6 | 312,703 | 93.4 | 13.5 |
| 23 | 36,011 | 85.4 | 306,663 | 98.1 | 11.7 |
| 24 | 35,835 | 99.5 | 309,668 | 101.0 | 11.6 |
| 25 | 36,445 | 101.7 | 314,857 | 101.7 | 11.6 |
| 26 | 36,152 | 99.2 | 297,388 | 94.5 | 12.2 |
| 27 | 36,818 | 101.8 | 330,184 | 111.0 | 11.2 |
| 28 | 39,844 | 108.2 | 309,279 | 93.7 | 12.9 |
| 29 | 36,290 | 91.1 | 304,574 | 98.5 | 11.9 |
| 30 | 35,783 | 98.6 | 305,752 | 100.4 | 11.7 |
| 元 | 35,417 | 99.0 | 307,081 | 100.4 | 11.5 |
| 2 | 23,158 | 65.4 | 184,140 | 60.0 | 12.6 |

(資料：観光地利用者統計調査)

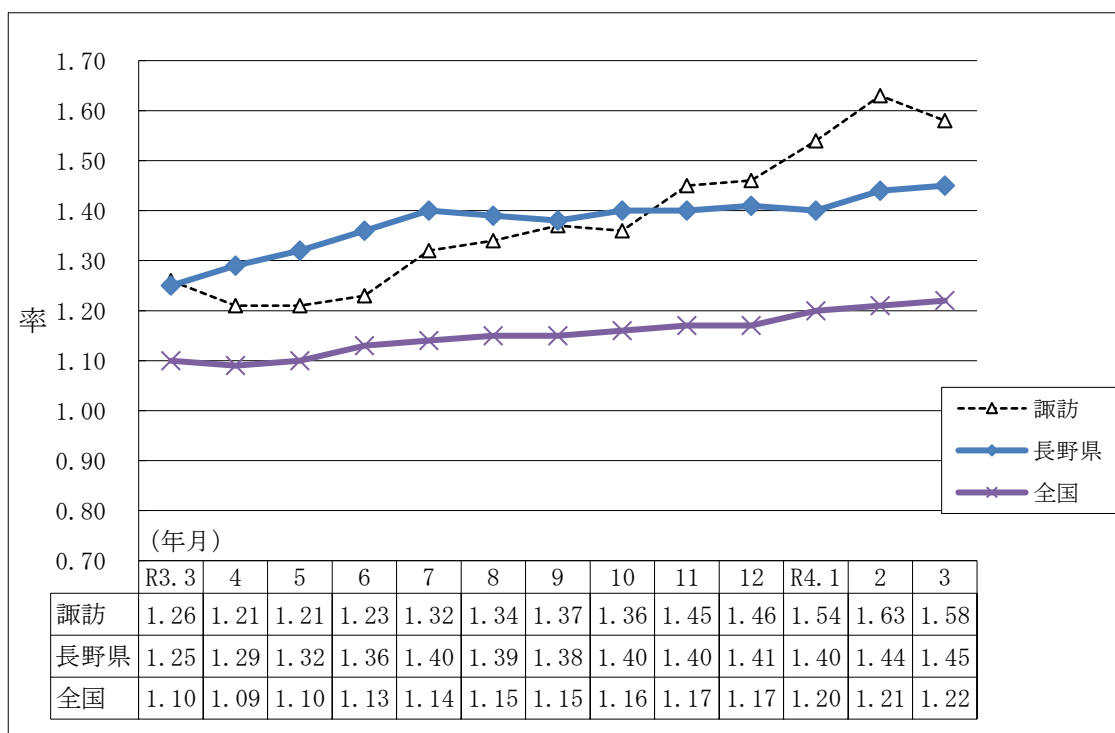
5 職業紹介事業の状況

(1) 職業相談、企業訪問等の状況

| 年度 | 令和2年度 | | | | | 令和3年度 | | | | |
|----------|------------------|-------------------|------------------|-------------------|-----------------|------------------|-------------------|------------------|-------------------|-----------------|
| | 相談 実人員 (人) | 相談延 べ件数 (件) | 企業 訪問数 (回) | 求人開 拓人数 (人) | 就職 件数 (件) | 相談 実人員 (人) | 相談延 べ件数 (件) | 企業 訪問数 (回) | 求人開 拓人数 (人) | 就職 件数 (件) |
| 障がい者 | 18 | 182 | 165 | 7 | 5 | 18 | 154 | 239 | 5 | 4 |
| 身体障がい者 | 4 | 27 | | 2 | 2 | 4 | 34 | | 0 | 1 |
| 知的障がい者 | 1 | 8 | | 0 | 0 | 1 | 1 | | 0 | 0 |
| 精神障がい者 | 8 | 45 | | 0 | 0 | 7 | 63 | | 5 | 2 |
| その他 | 5 | 102 | | 5 | 3 | 6 | 56 | | 0 | 1 |
| 母子家庭の母等 | 1 | 1 | | 0 | 1 | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| 中国帰国者 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| 子育て期の女性※ | 320 | 537 | | 4 | 46 | 275 | 431 | | 0 | 32 |
| ひきこもり※ | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| 管内合計 | 339 | 720 | 165 | 11 | 52 | 293 | 585 | 239 | 5 | 36 |
| 県合計 | 2,609 | 5,185 | 2,896 | 206 | 349 | 2,772 | 8,475 | 3,712 | 280 | 165 |

※「子育て期の女性」は平成26年度から対象 「ひきこもり」は令和2年度から対象

(2) 有効求人倍率の推移(パートを含む全数値)



6 中小企業制度資金あつせん状況等

| 資 金 名 | | 令和3年度 | | 令和2年度 | | 前年度比 | | |
|----------------------------|--------------------------------------|-------------|------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-------|
| | | 件数 | 金額 (千円) | 件数 | 金額 (千円) | 件数 (%) | 金額 (%) | |
| あ つ せ ん 資 金 | 小規模企業発展資金 | 2 | 4,000 | 2 | 18,900 | 100.0 | 21.2 | |
| | 経営健全化支援資金 | 経営安定対策 | 5 | 38,240 | 2 | 33,920 | 250.0 | 112.7 |
| | | 特別経営安定対策 | 8 | 70,470 | 5 | 205,000 | 160.0 | 34.4 |
| | | 防災・安全対策 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — |
| | | 災害対策 | 1 | 2,000 | 0 | 0 | 皆増 | 皆増 |
| | | 新型コロナウイルス対策 | 161 | 2,090,880 | 92 | 3,635,000 | 175.0 | 57.5 |
| | | 小計 | 175 | 2,201,590 | 99 | 3,873,920 | 176.8 | 56.8 |
| | 信 州 創 生 推 進 資 金 | 創業支援向け | 69 | 347,380 | 57 | 332,710 | 121.1 | 104.4 |
| | | 事業承継向け | 0 | 0 | 2 | 6,000 | 皆減 | 皆減 |
| | | IT産業向け | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — |
| 事業展開向け | | 1 | 10,620 | 0 | 0 | 皆増 | 皆増 | |
| 地域活性化向け | | 3 | 47,400 | 0 | 0 | 皆増 | 皆増 | |
| 企業立地向け | | 1 | 15,400 | 0 | 0 | 皆増 | 皆増 | |
| ゼロカーボン・次世代産業向け | | 1 | 8,000 | 0 | 0 | 皆増 | 皆増 | |
| 海外展開向け | | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — | |
| 小計 | | 75 | 428,800 | 59 | 338,710 | 127.1 | 126.6 | |
| | 経営改善サポート資金 | 2 | 55,010 | 2 | 76,000 | 100.0 | 72.4 | |
| | 管内合計 | 254 | 2,689,400 | 162 | 4,307,530 | 156.8 | 62.4 | |
| 上記資金（全県） | | 2,850 | 27,949,350 | 2,150 | 46,646,310 | 132.6 | 59.9 | |
| 中小企業振興資金（全県） | | 2,755 | 12,982,440 | 1,855 | 9,521,080 | 148.5 | 136.4 | |
| 長野県新型コロナウイルス感染症対応資金（全県） | | 22 | 330,950 | 29,101 | 392,248,560 | 0.1 | 0.1 | |
| 合計（全県） | | 5,627 | 41,262,740 | 33,106 | 448,415,950 | 17.0 | 9.2 | |

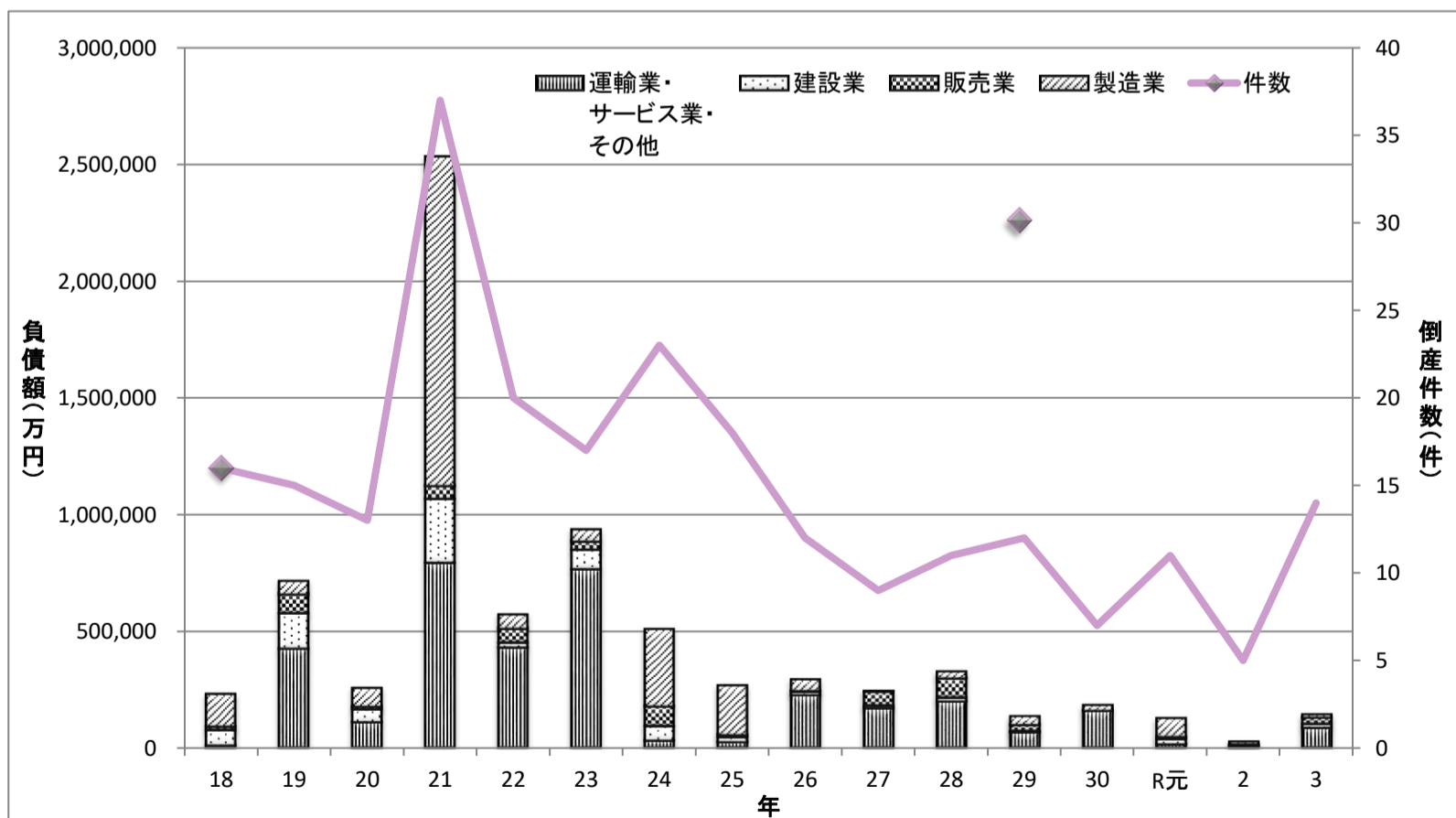
7 倒産の状況

(1) 業種別倒産の状況（負債総額1,000万円以上）

（単位：件、万円）

| 業種 年 | 製造業 | | 販売業 | | 建設業 | | 運輸業・サービス業・その他 | | 管内計 | | | 県計 | | |
|---------|-----|-----------|-----|--------|-----|---------|---------------|---------|-----|-----------|---------|-----|-----------|---------|
| | 件数 | 負債額 | 件数 | 負債額 | 件数 | 負債額 | 件数 | 負債額 | 件数 | 負債額 | 1件当り負債額 | 件数 | 負債額 | 1件当り負債額 |
| 18 | 6 | 141,900 | 3 | 16,500 | 5 | 65,000 | 2 | 12,000 | 16 | 235,400 | 14,713 | 163 | 4,459,900 | 27,361 |
| 19 | 3 | 58,500 | 3 | 86,500 | 5 | 151,300 | 4 | 425,700 | 15 | 722,000 | 48,133 | 189 | 8,744,000 | 46,265 |
| 20 | 2 | 81,600 | 3 | 13,100 | 3 | 54,000 | 5 | 112,100 | 13 | 260,800 | 20,062 | 189 | 5,277,900 | 27,925 |
| 21 | 11 | 1,406,500 | 5 | 60,400 | 9 | 274,100 | 12 | 791,700 | 37 | 2,532,700 | 68,451 | 226 | 8,756,400 | 38,745 |
| 22 | 6 | 63,600 | 3 | 63,700 | 2 | 21,000 | 9 | 430,700 | 20 | 579,000 | 28,950 | 151 | 4,894,300 | 32,413 |
| 23 | 3 | 53,900 | 3 | 39,800 | 7 | 83,800 | 4 | 765,000 | 17 | 942,500 | 55,441 | 155 | 4,585,500 | 29,584 |
| 24 | 7 | 335,100 | 9 | 86,200 | 2 | 61,200 | 5 | 33,300 | 23 | 515,800 | 22,426 | 138 | 3,188,600 | 23,106 |
| 25 | 8 | 216,500 | 3 | 9,800 | 5 | 20,900 | 2 | 26,000 | 18 | 273,200 | 15,178 | 113 | 2,263,400 | 20,030 |
| 26 | 6 | 50,700 | 1 | 5,000 | 1 | 15,000 | 4 | 226,900 | 12 | 297,600 | 24,800 | 97 | 1,954,500 | 20,149 |
| 27 | 1 | 2,800 | 3 | 60,600 | 2 | 12,100 | 3 | 170,300 | 9 | 245,800 | 27,311 | 86 | 2,561,700 | 29,787 |
| 28 | 4 | 30,900 | 3 | 85,600 | 2 | 16,400 | 2 | 199,400 | 11 | 332,300 | 30,209 | 88 | 1,642,800 | 18,668 |
| 29 | 3 | 38,400 | 3 | 27,500 | 1 | 5,000 | 5 | 67,500 | 12 | 138,400 | 11,533 | 81 | 2,141,900 | 26,443 |
| 30 | 3 | 25,500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 161,800 | 7 | 187,300 | 26,757 | 93 | 2,270,600 | 24,415 |
| R元 | 5 | 82,800 | 2 | 8,700 | 2 | 23,100 | 2 | 16,700 | 11 | 131,300 | 11,936 | 78 | 2,238,900 | 28,704 |
| 2 | 2 | 14,000 | 1 | 5,500 | 1 | 2,600 | 1 | 8,000 | 5 | 30,100 | 6,020 | 80 | 1,800,300 | 22,504 |
| 3 | 3 | 15,600 | 2 | 27,700 | 4 | 16,800 | 5 | 87,400 | 14 | 147,500 | 10,536 | 66 | 1,687,200 | 25,564 |

(2) 負債額・倒産件数の推移



8 商工会議所・商工会の状況

(1) 概要

| 区分 | 商工業者数 | うち小規模事業者数 | 会員数 | 経営指導員数 | 補助員数 |
|----------|--------|-----------|-------|--------|------|
| 岡谷商工会議所 | 2,643 | 1,961 | 1,426 | 4 | 1 |
| 諏訪商工会議所 | 2,996 | 2,362 | 1,574 | 4 | 1 |
| 茅野商工会議所 | 2,958 | 2,241 | 1,349 | 4 | 1 |
| 下諏訪商工会議所 | 1,153 | 771 | 984 | 2 | 1 |
| 富士見町商工会 | 596 | 506 | 403 | 2 | 1 |
| 原村商工会 | 395 | 393 | 283 | 1 | 1 |
| 計 | 10,741 | 8,234 | 6,019 | 17 | 6 |

出典：令和3年度長野県商工会議所概要、長野県下商工会の概況（データ編）

(2) 小規模事業経営支援事業費補助金（令和4年度）

| 事業主体 | 交付予定額 (千円) | 対象経費等 |
|----------|---------------|---|
| 岡谷商工会議所 | 32,874 | 事務局長・経営指導員・補助員・シニア専門指導員人件費、研修等参加費、指導普及・連絡会議費、若手後継者等育成事業費、経営安定特別相談事業費 他 |
| 諏訪商工会議所 | 36,150 | |
| 茅野商工会議所 | 47,956 | |
| 下諏訪商工会議所 | 22,838 | |
| 富士見町商工会 | 18,861 | |
| 原村商工会 | 17,214 | |
| 計 | 175,893 | |

9 中小企業技術相談・経営助言の実施状況（令和3年度）

| 区分 | 内容 | 件数 | 備考 |
|------|--------|-----|-------------------------------------|
| 技術相談 | 現場技術相談 | 136 | 工業技術総合センター職員が直接企業の現場に伺い、無料で技術相談を行う。 |
| 経営助言 | 専門家派遣 | 5 | 長野県中小企業振興センターに登録している専門家が経営診断・助言を行う。 |

農業農村支援センター

令和4年度

農業農村支援センター

1 概況

管内の農業は、標高約 1,200m の八ヶ岳山麓から 760m の諏訪湖周辺に至る地域において営まれており、八ヶ岳西麓地域と諏訪湖周辺地域に大別できる。

八ヶ岳西麓地域は、県下有数の野菜・花きの産地であり、夏期冷涼な気象条件を活かし、野菜ではキャベツ、だいこん及びレタスが指定野菜に、セルリー、ブロッコリー及びスイートコーンが特定野菜の産地指定を受けている。なかでもセルリーは、全国トップの産地として発展してきている。花きでは、キク、カーネーションを中心に多品目が栽培されており、県内の3割弱の生産額を占める大産地として発展している。

また、畜産は酪農が主体で、自給飼料（牧草）を活用した畜産経営が行われている。

一方、諏訪湖周辺地域では、水稻を基幹に果菜類（トマト、キュウリ）や花き（バラ、カーネーション）の施設化、団地化が図られている。果樹ではりんごが中心に生産され、主に観光農園で販売が行われている。

(1) 耕地面積

耕地面積は 5,923ha で、田は 3,288ha、畑 2,628ha となっている。

農家一戸当たり耕地面積は 121a で県平均 117a を上回っている。

| 市町村名 | 耕地面積(ha) | 田(ha) | 畑(ha) | 農家一戸当たり 耕地面積(a) |
|---------|----------|--------|--------|--------------------|
| 岡谷市 | 215 | 74 | 141 | 48 |
| 諏訪市 | 609 | 398 | 211 | 72 |
| 茅野市 | 2,330 | 1,340 | 987 | 117 |
| 下諏訪町 | 49 | 25 | 24 | 40 |
| 富士見町 | 1,590 | 895 | 690 | 173 |
| 原村 | 1,130 | 556 | 575 | 200 |
| 合計 | 5,923 | 3,288 | 2,628 | 121 |
| 対前年比 | 100.0 | 100.1 | 99.9 | — |
| 県 | 105,200 | 51,900 | 53,400 | 117 |
| 対前年比(%) | 99.9 | 99.0 | 100.0 | — |

注) 資料:農林水産省耕地面積調査(令和4年2月28日現在)

①原数を四捨五入したため、総数と一致しない場合がある。

②一戸当たり耕地面積の算出に使用した総農家戸数は2020年農業センサスによる。

(2) 農家戸数、農業従事者数、基幹的農業従事者等

管内の農家戸数は 4,905 戸で前回センサスの 82.4%であり、販売農家戸数は 2,174 戸で同 78.8%、自給的農家戸数は 2,831 戸で同 92.2%となっている。

農業従事者数は 5,286 人で前回センサスの 70.0%、基幹的農業従事者は 2,790 人で、同じく前回センサスの 70.0%であり、いずれも全県値より減少幅が大きくなっている。

(単位：戸、%、人)

| 市町村名 | 農 家 戸 数 | | | 農 業 従事者数 | 基幹的 農 業 従事者 |
|------|---------|--------|------------|-------------|-------------------|
| | 総農家数 | 販売農家 | 自給的 農 家 | | |
| 岡谷市 | 448 | 65 | 383 | 158 | 96 |
| 諏訪市 | 846 | 319 | 527 | 797 | 412 |
| 茅野市 | 1,999 | 925 | 1,174 | 2,099 | 1,050 |
| 下諏訪町 | 124 | 15 | 109 | 46 | 25 |
| 富士見町 | 922 | 450 | 472 | 1,127 | 557 |
| 原 村 | 566 | 400 | 166 | 1,059 | 650 |
| 合 計 | 4,905 | 2,174 | 2,831 | 5,286 | 2,790 |
| 対前回比 | 82.4 | 78.8 | 92.2 | 70.0 | 70.0 |
| 県 | 89,786 | 40,510 | 49,276 | 102,706 | 55,516 |
| 対前回比 | 85.7 | 78.2 | 92.9 | 74.9 | 75.5 |

注) 資料：2020年農業センサス

①販売農家：経営耕地面積が 30a 以上又は農産物販売金額が 50 万円以上の農家

②自給的農家：経営耕地面積が 30a 未満かつ農産物販売金額が 50 万円未満の農家

③農業従事者数：15 歳以上の世帯員のうち、調査期日前 1 年間に自営農業に従事した者

④基幹的農業従事者：15 歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として自営農業に従事している者

⑤対前回比：2015 年農業センサスとの比較

(3) 令和3年の気象と農業生産状況

令和3年は、年平均気温は平年並みで、降水量が多く、日照時間は平年並みとなった。降雪量は平年並みだった。

4月下旬に強い霜が発生し、管内でも凍霜害が報告された。梅雨入りは6月14日頃で、梅雨明けが7月16日頃だった。8月中旬に前線が停滞し、記録的な豪雨となって管内でも農業災害が発生した。9月から11月は、平均気温は平年並、降水量は平年並みか少なめとなった。

水稻は、出穂直後の8月中旬の記録的豪雨により、内えい褐変病や白穂枯れが発生した。南信地域の作況指数は95で、着色粒や整粒不足で1等米比率は98%（2月末現在）となった。

野菜類は、春先の凍霜被害は少なかったが、セルリーの新病害やブロッコリー等のテンサイシストセンチュウによる被害が散見された。花きは、春先の低温により生育不良となり、トルコギキョウでは立枯病が多発した。果樹は、4月下旬の低温で凍霜被害が発生した。

(4) 農業等産出額（R2）

管内の農畜産物の産出額は、前年対比98.4%の145億円であり、米は同89.7%の28億円、野菜は同104.1%の68億円、花きは同96.0%の36億円となっている。野菜と花きを合わせると、産出額全体の約7割を占める。

水産業の産出額は、前年対比91.9%の8億円となっている。

(単位：ha、千万円、%)

| 種 類 | 作付面積 | 農業等産出額 | | |
|------|---------|--------|-------|------|
| | | 農業等産出額 | 構成比 | |
| 農畜産物 | 米 | 1,998 | 280 | 18.3 |
| | 麦・大豆・雑穀 | 436 | 5 | 0.3 |
| | 果樹 | 88 | 20 | 1.3 |
| | 野菜 | 1,468 | 680 | 44.4 |
| | 花き | 90 | 360 | 23.5 |
| | きのこ | - | 5 | 0.3 |
| | 畜産 | - | 100 | 6.5 |
| | 養蚕・その他 | - | 0 | 0.0 |
| | 計 | 4,080 | 1,450 | 94.8 |
| 水産業 | - | 80 | 5.2 | |
| 合 計 | - | 1,530 | 100.0 | |

注) 産出額は、県農業産出額に基づく地域振興局推計値

(5) 新規就農者の確保育成状況

市町村、JA等で構成する「諏訪地区就農支援連絡会」が中心になり、就農相談、就農計画の作成支援、新規就農後のフォローアップを実施している。令和3年度の管内の新規就農者数は8名（野菜7名、花き1名）であった。

また、円滑な就農を支援するため、新規就農里親支援事業を実施している。

最近の新規就農の状況（45歳未満）

（単位：人／年間）

| 年 度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 （計画） |
|-----|--------|-------|-------|-------|---------------|
| 人 数 | 16 | 11 | 13 | 8 | 14 |

新規就農里親農業者登録事業・里親活動支援事業の状況

（単位：人）

| 項 目 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 （予定） |
|--------|--------|-------|-------|-------|---------------|
| 里親登録者数 | 35 | 34 | 32 | 29 | 26 |
| 里親研修者数 | 7 | 6 | 6 | 3 | 4 |